

平成29年度

越前市総合計画等達成度評価報告書

平成30年6月

越前市総合計画等達成度評価委員会

越前市長 奈良 俊幸 様

平成29年度越前市総合計画等達成度評価結果について（報告）

越前市総合計画等達成度評価委員会は、越前市総合計画等達成度の評価に関する越前市事務事業等評価委員会設置規則に基づき、越前市総合計画及び越前市総合戦略に掲げる政策の平成29年度における達成度について、市から提示された内部評価結果などを参考に審議を行い、市民の視点に立ってその達成度評価を実施しました。

この度、評価結果を取りまとめましたので報告いたします。

なお、市においては、本委員会の評価結果を市民に公表するとともに、市総合計画及び市総合戦略の効果的かつ効率的な推進に反映されるよう要望します。

平成30年6月19日

越前市総合計画等達成度評価委員会

委員長	山下 裕己
委員	岡川 聖代
委員	片岡 由季子
委員	河合 洋典
委員	近藤 和佳
委員	平野 雅之
委員	吉田 雅穂

目 次

1	はじめに	1
2	評価方法	2
3	評価結果	3
4	総合計画等達成度評価票	4
5	越前市総合計画等達成度評価委員会の開催経過	1 2
6	越前市総合計画等達成度評価委員会委員名簿	1 3
7	越前市総合計画等達成度の評価に関する 越前市事務事業等評価委員会設置規則	1 4

資料

越前市総合計画等達成度内部評価票〔平成29年度分〕

1 はじめに

総合計画等達成度評価を行って

日本経済の成長が低迷し、少子高齢化と人口減少の時代を迎え、地方自治体は厳しい運営を強いられている。

そんな中で越前市は「半世紀に一度のまちづくり」という大きな転換期に直面している。2巡目の福井国体開催、武生中央公園の再整備、老朽化した市庁舎の建設、さらに5年後の北陸新幹線金沢・敦賀間開業に向けた南越駅（仮称）周辺整備など、これらの取組みは将来の方向性を左右する重要な課題である。

また人口減少などに伴い「消滅可能性都市」という衝撃的な言葉さえ聞こえる状況で、定住・移住の促進、地域の活力・魅力アップなど生き残りをかけた戦略的な施策の推進は急務である。

私たち評価委員会は越前市が市総合計画に掲げる5本のまちづくりの柱等に基づいて、市民の代表として厳正かつ率直な視点で、政策の達成度や独自性、取組み姿勢などについて評価を行った。

一番に評価できるのは、平成29年度に140人の人口増加を達成した事実だろう。合併後初めてのことで、全国的に困難とされる課題をクリアしたことは特記できる。「モノづくり都市」の特性を生かし、好況を維持する市内の企業と連携を図り、従業員の定住化を推進した成果といえるだろう。

県内外へのアピールに貢献した事業もあった。かこさとしさん監修の「だるまちゃん広場」は親子の豊かな生活環境づくりに寄与し、総合体育館の新築も含めた武生中央公園の充実は市民の暮らしに潤いをもたらした。またコウノトリをシンボルとした一連の取組みも「環境調和型社会」の概念を浸透させた。

一方で、市庁舎の建て替えに伴い懸案の中心市街地の活性化を具体化する段階に入る。北陸新幹線南越駅（仮称）周辺整備と連動した魅力あるまちづくりが実現できるかは、行政の力量が真に問われる課題である。また福祉、教育、防災などは市民との協働体制が大切になるが、啓発・周知に工夫を凝らす余地がある。

市総合計画の内容は多岐にわたり、8万人の市民には8万通りの要望がある。これら多様な声に耳を傾け満足度の高い越前市を目指すと同時に、特徴的で誇りを持てる政策を創造する知恵と工夫も求められる。「きめ細かく、しかも大胆に一」。相反するテーマではあるが、今後も果敢に挑戦してもらいたい。

越前市総合計画等達成度評価委員会
委員長 山下裕己

2 評価方法

評価にあたっては、委員全員が、市政運営、施策の展開状況等を委員会の狙いである市民の視点、観点に立って注視し、委員会での審議、評価に努めた。

評価は、市総合計画の平成29年度の政策の達成度について、実践プログラムに掲げる数値目標の達成度及び主要な事業の進捗状況等、市が提示した内部評価結果（※）を参考に、総合的な評価・検証を行ったものである。

市総合計画に掲げる5本のまちづくりの柱である「元気な産業づくり」「元気な人づくり」「快適で住みよいまちづくり」「安全で安心なまちづくり」「市民が主役のまちづくり」及び、市の行財政運営に関する柱の「地方分権に対応した行財政運営」それぞれの柱並びに政策、施策を評価対象として行った。

また、市総合戦略における「具体的施策の実施状況」及び数値目標・KPIを検証し、施策の進捗状況について評価した。

なお、評価結果は、次の4段階評価とし、それぞれに委員会としてのコメントを添えた。

- A：十分に達成された
- B：達成された
- C：達成度やや低い
- D：達成度が低い

※ 市が提示した内部評価票（別資料）は、次の4段階評価となっている。

- 4：十分に達成できた
- 3：達成できた
- 2：相当程度達成（達成まであとわずか）
- 1：達成には程遠い、もしくは目標に向かっていない

3 評価結果

まちづくりの柱	評価	まちづくりの柱 政策数	政策の評価（内訳）
元気な産業づくり	A	6政策	A：5 B：1
元気な人づくり	A	9政策	A：8 B：1
快適で住みよいまちづくり	B	5政策	A：2 B：3
安全で安心なまちづくり	A	5政策	A：4 B：1
市民が主役のまちづくり	B	4政策	A：1 B：3
地方分権に対応した行財政運営	A	3政策	A：2 B：1
全 体	A：4 B：2	32政策	A：22 B：10

4 総合計画等達成度評価票

越前市総合計画等達成度評価票 <全体>

基本構想		総人口(年度末人口)								
		基準値	実績値							
重点 目標	定住化の促進	H17.10	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
		87,742人	85,569人	85,068人	84,487人	83,617人	83,614人	83,366人	82,982人	83,122人

基本政策		達成度評価	
		達成度	コメント
まち づ く り の 柱	<第1章> 元気な 産業づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・第1章の元気な産業づくりは越前市の活力の肝である。市の魅力向上は産業の振興に加え重要な要素であり、若者が選んでくれるまちとなるよう様々な事業・施策に取り組んでいることが評価できる。 ・市の人口が増加していることから、UJターン促進に向けた様々な取組みが評価できる。
	<第2章> 元気な人づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉や教育の分野は成果が見えにくい、様々な施策を細やかに行っており、一部課題があるものの高く評価できる。 ・少子高齢化が進み経済的支援をはじめとした行政支援が必要な家庭が増加するなか、市が抱える重点的に取り組むべき課題を明確にし、支援から漏れてしまう市民が生じないよう支援をお願いしたい。
	<第3章> 快適で住みよい まちづくり	B	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で住みよいまちづくりは市民の生活に直結するテーマであることから、数値目標等を高く設定し厳しい内部評価をしているが、今後も引き続き頑張ってほしい。また、まだ伸びしろがあるように感じられる。
	<第4章> 安全で安心な まちづくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心なまちづくりに向け、県を含めた長年の取組みがあるなか、29年度は刑法犯認知件数や交通事故などの数値改善があり評価できる。 ・ハード整備と市民の協力の両方が必要な分野であるが、市民の協力を得るに当たり、良好な協働体制となるよう配慮してほしい。
	<第5章> 市民が主役の まちづくり	B	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の主体的・自発的な活動として、補助団体の活動などにより一部成果は上がっているものの、市民が主役という意味ではもうひと頑張りが必要である。 ・今後、市民が主役という意識が醸成されるよう市民への啓発活動に取り組んでほしい。 ・市の取組みの努力は理解できるが、市民にどれだけ伝わっているかが重要である。また、市民の声を吸い上げるような努力も必要である。
<第6章> 地方分権に対応した 行財政運営	A	<ul style="list-style-type: none"> ・行財政運営が強固であることは越前市の強みであり、継続して財政基盤を保ってほしい。また、ふるさと納税や広域観光の実績から、多くの方が越前市を見ている・選んでくれている点が評価できる。 	

越前市総合計画等達成度評価票 <まちづくりの柱別>

第1章		【達成度評価】	
		達成度	コメント
政策	(1) 活力と創造性に満ちた工業の振興	A	<ul style="list-style-type: none"> ・モノづくりのまちの特徴を活かした取組みを行っている。越前和紙の商品開発、企業立地促進等についても実績がある。望ましい形は、市内中小企業の業績向上に反映された出荷額となることであり、さらなる事業支援・推進をお願いしたい。 ・越前モノづくり塾や女性への支援などでは、市のみならず受講した方からの情報発信を目にする機会も多く、これからの取組みに期待できる。 ・工業の振興は市内大手企業の業績に影響されることから、中小企業への支援、女性の創業やアフターフォローも重視してほしい。
	(2) 魅力ある商業の振興	A	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか開業支援件数の伸びが好調である。中小企業融資事業では、1.5倍と上方改定した目標値をさらに上回る実績となり、金融機関と連携した取組み強化が評価できる。 ・29年度に武生工業高校生がまち歩きをした際に、高校生が店舗に興味を持ち、営む方も快く受け入れていた。自分たちのまちの変化に気づくことができ良かったというアンケート等からも、魅力ある商業の振興の努力が見える。
	(3) 出会いと感動のある観光の振興	A	<ul style="list-style-type: none"> ・観光における収支バランスは重要な要素であり、常に検証しながら事業の継続性を確保してほしい。一方で、伝統産業のまち歩きツアーの企画やボランティアガイドの活用、専門ガイドの養成などソフト面での取組みを行った結果、観光客入込客数が目標値を上回るなど評価できる。 ・地域子どもたちにとって「だるまちゃん広場」はまた遊びに行きたくなる場所になっているなど、武生中央公園を中心とした取組みは、越前市の将来的な魅力向上にもつながることが期待でき、応援したくなる取組みである。
	(4) 地域資源を活かした農業の振興	A	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の機械化や新技術も導入されてきているが、担い手がいけないことには始まらない。後継者育成に力を入れてほしい。 ・食育イベントの開催や地産地消の推進などに積極的に取り組んでおり、生産コスト軽減のための農地の集積・集約化の支援での成果が評価できる。 ・農業が厳しい状況に置かれていることは日本全体の共通した課題であるが、特別栽培米の作付拡大や環境調和型農業の推進という越前市の特徴を活かした取組みを引き続き進めてほしい。
	(5) みどり輝く森林づくり	B	<ul style="list-style-type: none"> ・健全な森林の整備や森林資源の活用について、様々な取組みを行っているものの、結果として民有林造林・間伐等の整備未達や金華山グリーンランドでの収入減、八ツ杉森林学習センターでの利用者減があり改善が必要と考える。 ・金華山グリーンランドへの宿泊経験のある方から高評価の声を聞く。子ども会やスポーツ少年団など宿泊を企画している方に、情報が直接伝わるよう工夫してほしい。
	(6) いきいきと働きやすい環境の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象に市内企業の職場見学会を開催することで、地元企業を知ってもらう機会をつくることは重要であり評価できる。 ・若者の離職防止の観点からも、福利厚生の実践だけでなく経営者側の意識改革が必要。新入社員の職場定着化セミナーだけでなく、若者のライフスタイル・価値観の変化についての経営者側へのセミナーは効果があると考えられる。 ・今後は、若者、経営者に加え、保護者への説明会やセミナー等も求められる時代になってきていると感じている。
元気な産業づくり <総括> (再掲)		【達成度評価】	
		達成度	コメント
		A	<ul style="list-style-type: none"> ・第1章の元気な産業づくりは越前市の活力の肝である。市の魅力向上は産業の振興に加え重要な要素であり、若者が選んでくれるまちとなるよう様々な事業・施策に取り組んでいることが評価できる。 ・市の人口が増加していることから、Uターン促進に向けた様々な取組みが評価できる。

越前市総合計画等達成度評価票 <まちづくりの柱別>

第2章		【達成度評価】	
		達成度	コメント
政策	(1) 子どもの笑顔 が輝く環境づ くり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・融資優遇制度と表彰制度の新たな取組みもあり大幅に目標値を上回ったすくすくすまいる事業所登録をはじめ、ひとり親家庭児童等への学習支援など幅広く施策を実施し成果を上げていることが評価できる。 ・外国人が増加するなか、出生後など子が小さい時から親同士が触れ合える機会があるとよい。
	(2) 安心して暮ら せる長寿社 会の実現	A	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定率が減少し県内市町で一番低い数値となったことや、徘徊模擬訓練では地域の協力体制を得られる体制を構築するなど地域内での支え合いの取組みを推進していることが評価できる。 ・定住・永住する外国人が増加するなか、高齢化に伴う問題は日本人に限らず、外国人においても避けて通れない。ハード面・ソフト面ともに事前対応が必要である。
	(3) 障がい者が 安心して暮ら せるまちづく り	A	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者もその障がい者を見ている方も安心して暮らせるよう各種施策に取り組んでいる。 ・タクシー券助成の外出支援の改善によるサービス向上が評価できる。 ・福井しあわせ元気大会に向けたボランティア育成では、大会後も継続して関わる体制づくりをしてほしい。
	(4) 健やかで元 気に暮らせる まちづくり	B	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診査の受診を浸透させることは難しいが、多額の医療費は本人だけでなく市の財政にも影響してくるため、周知方法にもう一工夫が必要である。 ・健康診査で早期発見、早期治療の重要性は理解していても、専業主婦は年に一度のことであっても家事や育児をしないで行けるのかなど時間の確保がハードルとなり、家庭内の家事分担や家族の育児への理解も課題である。
	(5) 助け合い、支 え合う地域社 会の形成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の助け合いによる地域福祉を推進する取組みは地域の原動力となる。直ちに効果が表れるものではないが、地道な活動で着実に地域の力となる取組みを進めていることを評価する。 ・気がかりなケースに心を配るためにも、福祉推進員が気軽に集まり、気軽に情報共有することができる場があるとよい。また、福祉推進員の存在を地域の周囲の方も知ってもらえる場があると、スムーズな情報共有が図られるのではないかと。

越前市総合計画等達成度評価票 <まちづくりの柱別>

第2章		【達成度評価】	
		達成度	コメント
	(6) 人間力を高める教育の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍児童への日本語初期指導やことば支援員等の配置増などの支援や、小中学校における「夢の教室」を継続して実施するなど、越前市ならではの取り組みを行っており評価できる。 ・子どもたちにとって教育の場が楽しいということが、学校に行きたくなる・学びたくなる・夢を見つけるということにつながると思うので、教育の充実に向けて引き続き取り組んでほしい。
	(7) 主体的に学びを活かす生涯学習社会の実現	A	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外を問わず多くの方が訪れる「だるまちゃん広場」の存在は大きく、武生中央図書館が広場との連携をさらに深めることにより、生涯学習社会の実現に大きな役割を果たすと期待している。 ・実践プログラムの数値目標等の未達項目については公共施設のハード面の問題がありやむを得ない結果であるが、市が取り組んでいる内容は評価できる。
	(8) 誇れる歴史、芸術文化の創造	A	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化は意識しないと日々の生活に取り入れることが難しいなか、越前市では様々な世代の市民が事業を通じて芸術文化を理解できるよう取り組んでいることが評価できる。 ・越前市に数多くある文化財を保存・継承しつつ、イベントやインバウンド観光等でその価値や魅力を伝え、国内のみならず国外からの観光客を引き寄せることのできる目玉となるとよい。
	(9) 生涯スポーツのまちづくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・武生中央公園総合体育館が完成し、スポーツの利用範囲が広がったことに加え、利用者数が大幅に増加したことも評価できる。 ・武生中央公園総合体育館の完成や開催を間近に控えた福井国体により、「する」「みる」スポーツの機運が高まっている。子どもから高齢者までが、生涯を通してスポーツを楽しめるきっかけづくりしてほしい。
元気な人づくり <総括> (再掲)		【達成度評価】	
		達成度	コメント
		A	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉や教育の分野は成果が見えにくいだが、様々な施策を細やかに行っており、一部課題があるものの高く評価できる。 ・少子高齢化が進み経済的支援をはじめとした行政支援が必要な家庭が増加するなか、市が抱える重点的に取り組むべき課題を明確にし、支援から漏れてしまう市民が生じないよう支援をお願いしたい。

越前市総合計画等達成度評価票 <まちづくりの柱別>

第3章		【達成度評価】	
		達成度	コメント
政策	(1) 秩序ある土地利用の推進	B	・開発行為等の申請者との協議を実施していることは評価できるが、それが成果に結びついていないため頑張ってほしい。
	(2) コンパクトで機能的な都市構造の形成	A	・新婚夫婦家賃補助など各種施策によりまちなかへの移住者が増加していることが評価できる。 ・コウノトリが舞う里づくりの意義についても定着しており、地域と学校との結びつきの強さを地域の子どもたちを通して実感できる。
	(3) うるおいのある住環境の創出	A	・だるまちゃん広場の整備や日野川河川緑地の改修など具体的な成果が見えていくことが評価できる。 ・大規模な予算を伴う整備事業は、財政状況を勘案しつつ進めていく必要がある。 ・多くの人で賑わう武生中央公園で地域が儲かる仕組みを考えてほしい。
	(4) 快適な交通体系の整備	B	・30年2月の大雪は20年弱の周期で到来しており、改定を前倒しする市道路無雪化事業整備計画では長いスパンで考え、消雪道路の整備を進めてほしい。
	(5) 環境にやさしいまちづくり	B	・越前市はごみ減量や分別、リサイクルに積極的に取り組んでいることから、数値目標もそれに合わせて高く設定している。今後も高い理想を持ち着実に推進してほしい。 ・外国人のごみ分別を周知徹底するよう啓発してほしい。
快適で住みよいまちづくり <総括> (再掲)		【達成度評価】	
		達成度	コメント
		B	・快適で住みよいまちづくりは市民の生活に直結するテーマであることから、数値目標等を高く設定し厳しい内部評価をしているが、今後も引き続き頑張ってほしい。また、まだ伸びしろがあるように感じられる。

越前市総合計画等達成度評価票 <まちづくりの柱別>

第4章		【達成度評価】	
		達成度	コメント
政策	(1) 地域が支える 防災体制の 充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ起こるかわからない災害のために日常からの体制整備が必要であり、今後も引き続き積極的に市総合防災訓練や地区防災訓練などを実施してほしい。 ・市における防災対策は生命と財産を守る重要な役割であり万全を期してほしい。市職員の努力は評価できるが、避難マニュアル・防災マップ未作成町内が残るなど住民への支援を積極的に行ってほしい。 ・災害対策は市のみならず県や関係機関と一体となった取組みが必要である。
	(2) 郷土を守る治山・治水対策の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> ・吉野瀬川放水路の完成で治水効果が高まったことは評価できるが、各地で発生している土砂崩れのような山地災害についても対策に力を入れてほしい。 ・日々の報道等からも、予期せぬ豪雨・土砂崩れなどが頻発し甚大な被害が発生していることから、現計画を再検討しながら対策をしてほしい。
	(3) 地域ぐるみの 防犯対策の 充実	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみでの防犯対策により、刑法犯認知件数が前年比で約15%減少につながるなど評価できる。 ・越前市に限らず、県内の子どもに対する不審者情報が増加傾向にあり不安が広がっていることから、注意を払ってほしい。
	(4) 消防・救急体制の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> ・火災発生件数が南越消防組合発足以来最小となったことの要因はいくつかあるだろうが、特に蓬萊町火災が教訓になっていると考えられ、予防努力の結果と評価できる。
	(5) 暮らしの安全の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故死者数、人身事故件数、負傷者数がいずれも前年より減少したことは評価できる。 ・斎場での火葬頻度を上げたことは市民の利便性向上につながっていると評価できる。 ・オレオレ詐欺のような特殊詐欺の被害は全国的に増加傾向にあることから、消費者講座等での周知が必要である。
安全で安心な まちづくり <総括> (再掲)		【達成度評価】	
		達成度	コメント
		A	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心なまちづくりに向け、県を含めた長年の取組みがあるなか、29年度は刑法犯認知件数や交通事故などの数値改善があり評価できる。 ・ハード整備と市民の協力の両方が必要な分野であるが、市民の協力を得るに当たり、良好な協働体制となるよう配慮してほしい。

越前市総合計画等達成度評価票 <まちづくりの柱別>

第5章		【達成度評価】	
		達成度	コメント
政策	(1) 市民自治の 推進	A	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の自発的な活動のための補助制度の元、各地区や団体、学校等から申請があり事業が実施されているということで、市民自治の推進が図られていると感じた。 ・NPO交流事業への参加者数が順調に伸びていることから、市の取組みが市民活動団体にも周知が行き届いているものとする。地域住民が身近に感じるのは自治会の活動と考えるが、その意味で自治振興事業への参加者数が増加していることは良い。
	(2) 市民交流の 推進	B	<ul style="list-style-type: none"> ・増加する外国人への対応として、外国人相談員を増やしたことは非常に良いことである。 ・30年度の市多文化共生推進プランの策定を早急に進め、市民が安心して暮らしていけるまちをつくってほしい。
	(3) 人権尊重と 男女共同参 画社会の実 現	B	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の社会進出は良いことだが、家庭や子どもにしわ寄せとなったり、晩婚化が進む現状にあるなど課題がある。そこを整理し、一体的に考えてほしい。 ・男女共同参画の啓発活動は地道ではあるが、行政と企業とが協力して女性が働きやすく活躍できる社会を作ることが重要である。取組みは素晴らしいので、継続してほしい。
	(4) 情報の共有 化の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> ・市公式フェイスブック「いいね！越前」など市の事後報告の記事は見やすいが、一方で、「今」欲しい情報にすぐに行きつかない、「先」の欲しい情報が入ってこないなどの課題があり、これらの情報を見やすく、手に入りやすくしてほしい。 ・スマートフォンでの情報共有が重要になってくるため、市情報アプリ「えつつぶ」がより使いやすくなるような工夫と普及を継続的に取り組んでほしい。
市民が主役の まちづくり <総括> (再掲)		【達成度評価】	
		達成度	コメント
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の主体的・自発的な活動として、補助団体の活動などにより一部成果は上がっているものの、市民が主役という意味ではもうひと頑張りが必要である。 ・今後、市民が主役という意識が醸成されるよう市民への啓発活動に取り組んでほしい。 ・市の取組みの努力は理解できるが、市民にどれだけ伝わっているかが重要である。また、市民の声を吸い上げるような努力も必要である。

越前市総合計画等達成度評価票 <まちづくりの柱別>

第6章		【達成度評価】	
		達成度	コメント
政策	(1) 自立した行 財政運営の 確立	A	<ul style="list-style-type: none"> ・財政運営について、経費削減と増収という財務健全化の基本を達成しており素晴らしい。増収は難しいとされているが、そこをふるさと納税額において前年比2倍強で達成するなど評価できる。 ・議会及び庁内主要会議へのタブレット導入によるペーパーレス化は時代の流れであり、働き方改革を推進していくことは意義のあることである。ふるさと納税を活用した寄附額の増加や、健全財政の確立について取り組んでいることが評価できる。
	(2) 行政の広域 化への対応	A	<ul style="list-style-type: none"> ・広域観光については、北陸新幹線延伸に向け良い形になっている。広域連携が有効なものになることを期待する。南越駅(仮称)の名称について、市民の意見を聞いていただきたい。 ・マイナンバーカードを利用したコンビニ交付など、市民の利便性向上につながっている。観光は地域活性化のための要素であり、北陸新幹線延伸をチャンスと捉え、ますます推進を図ってほしい。
	(3) 電子自治体 の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> ・電子自治体の推進において、利便性の向上とセキュリティ対策は不可分であるため、しっかりと対策してほしい。 ・マイナンバー制度の導入により利便性が向上することは良いことである。個人でのリスク管理は重要だが、市からも個人での取り扱いの注意など積極的に広報してほしい。
地方分権に 対応した 行財政運営 <総括> (再掲)		【達成度評価】	
		達成度	コメント
		A	<ul style="list-style-type: none"> ・行財政運営が強固であることは越前市の強みであり、継続して財政基盤を保ってほしい。また、ふるさと納税や広域観光の実績から、多くの方が越前市を見ている・選んでくれている点が評価できる。

5 越前市総合計画等達成度評価委員会の開催経過

年月日	会議等	内容等
平成30年4月25日(水)	第1回達成度評価委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 市総合計画及び実践プログラムの説明 2 総合計画等達成度内部評価結果の説明 3 審議（評価の実践） 市民が主役のまちづくり 地方分権に対応した行財政運営
平成30年5月11日(金)	第2回達成度評価委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 審議（評価の実践） 元気な産業づくり 2 現地視察 ・越前市越前打刃物振興施設 ・都市計画道路 河濯線
平成30年5月18日(金)	第3回達成度評価委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 審議（評価の実践） 元気な人づくり
平成30年6月8日(金)	第4回達成度評価委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 審議（評価の実践） 快適で住みよいまちづくり 安全で安心なまちづくり
平成30年6月19日(火)	評価結果の市長報告	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員会から評価結果の市長報告

6 越前市総合計画等達成度評価委員会 委員名簿

◎委員長

氏名	役職等
岡川 聖代	西母親クラブ会長 越前市地方創生に関する有識者会議
片岡 由季子	税理士
河合 洋典	カワイ株式会社専務取締役 武生青年会議所前理事長 市本庁舎建設市民検討委員会委員
近藤 和佳	たんなんFMパーソナリティー 南越消防団式部さくら分団団員 一般社団法人福井県猟友会南越支部会員 越前市PTA総務部広報委員会副委員長
平野 雅之	日本政策金融公庫 武生支店 支店長
◎ 山下 裕己	福井新聞社参与特別論説員
吉田 雅穂	独立行政法人 国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授 H27 市産業活性化プラン改定有識者会議委員

(敬称略：五十音順)

7 越前市総合計画等達成度の評価に関する越前市事務事業等評価委員会設置規則

(設置)

第1条 越前市総合計画及び越前市総合戦略の達成度の評価に関する調査審議を行うため越前市附属機関設置条例（平成24年越前市条例第2号）第2条の規定に基づき、越前市総合計画等達成度の評価に関する越前市事務事業等評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、委員7人以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 関係行政機関の職員
- (3) 前2号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指定する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、会議の議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(報酬)

第6条 委員の報酬は、特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（平成17年越前市条例第44号）及び特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例施行規則（平成24年越前市規則第13号）の定めるところによる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、越前市行政組織規則（平成17年越前市規則第10号）別表第5に定める課において処理する。

(その他)

第8条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

(委員会招集等の特例)

2 委員長が互選されるまでの間、会議の招集及び運営は、市長が行う。

資料

越前市総合計画等達成度内部評価票

【平成29年度分】

1. 越前市総合計画等達成度内部評価票の構成

平成29年度 越前市総合計画等達成度 内部評価結果一覧表 P. 1

平成29年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票 P. 2

第1章 【元気な産業づくり】

第1節 活力と創造性に満ちた工業の振興 P. 2

第2節 魅力ある商業の振興 P. 4

第3節 出会いと感動のある観光の振興 P. 5

第4節 地域資源を生かした農業の振興 P. 7

第5節 みどり輝く森林づくり P. 8

第6節 いきいきと働きやすい環境の充実 P. 9

第2章 【元気な人づくり】

第1節 子どもの笑顔が輝く環境づくり P. 11

第2節 安心して暮らせる長寿社会の実現 P. 14

第3節 障がい者が安心して暮らせるまちづくり P. 15

第4節 健やかで元気に暮らせるまちづくり P. 16

第5節 助け合い、支え合う地域社会の形成 P. 17

第6節 人間力を高める教育の充実 P. 18

第7節 主体的に学びを生かす生涯学習社会の実現 P. 20

第8節 誇れる歴史、芸術文化の創造 P. 21

第9節 生涯スポーツのまちづくり P. 22

第3章 【快適で住みよいまちづくり】

第1節 秩序ある土地利用の推進 P. 23

第2節 コンパクトで機能的な都市構造の形成 P. 24

第3節 うるおいのある住環境の創出 P. 26

第4節 快適な交通体系の整備 P. 29

第5節 環境にやさしいまちづくり P. 30

第4章 【安全で安心なまちづくり】

第1節 地域が支える防災体制の充実	P. 31
第2節 郷土を守る治山・治水対策の充実	P. 32
第3節 地域ぐるみの防犯対策の充実	P. 33
第4節 消防・救急体制の充実	P. 34
第5節 暮らしの安全の向上	P. 35

第5章 【市民が主役のまちづくり】

第1節 市民自治の推進	P. 36
第2節 市民交流の推進	P. 37
第3節 人権尊重と男女共同参画社会の実現	P. 38
第4節 情報の共有化の推進	P. 39

第6章 【地方分権に対応した行財政運営】

第1節 自立した行財政運営の確立	P. 40
第2節 行政の広域化への対応	P. 41
第3節 電子自治体の推進	P. 42

2 評価について

政策、施策、基本施策については、次の4段階評価となっている。

- 4：十分に達成できた
- 3：達成できた
- 2：相当程度達成（達成まであとわずか）
- 1：達成には程遠い、もしくは目標に向かっていない

表記方法は、次のとおり2段書きとなっている。

4	平成29年度における評価
(4)	カッコ内は平成28年度における評価

総合戦略の評価については、実践プログラムでの評価を転記している。

- ◎ … 当該年度目標値の+2割以上
- … 当該年度目標値の同等以上、+2割未満
- △ … 当該年度目標値の8割以上、同等未満
- × … 当該年度目標値の8割未満
- … 評価のできないもの

平成29年度 越前市総合計画等達成度 内部評価結果一覧表

柱別	内部評価
第1章 【元気な産業づくり】	4
第2章 【元気な人づくり】	4
第3章 【快適で住みよいまちづくり】	3
第4章 【安全で安心なまちづくり】	4
第5章 【市民が主役のまちづくり】	3
第6章 【地方分権に対応した行財政運営】	4

柱及び政策別	内部評価
第1章 【元気な産業づくり】	4
第1節 活力と創造性に満ちた工業の振興	4
第2節 魅力ある商業の振興	4
第3節 出会いと感動のある観光振興	4
第4節 地域資源を活かした農業の振興	4
第5節 みどり輝く森林づくり	3
第6節 いきいきと働きやすい環境の充実	4
第2章 【元気な人づくり】	4
第1節 子どもの笑顔が輝く環境づくり	4
第2節 安心して暮らせる長寿社会の実現	4
第3節 障がい者が安心して暮らせるまちづくり	4
第4節 健やかで元気に暮らせるまちづくり	3
第5節 助け合い、支え合う地域社会の形成	4
第6節 人間力を高める教育の充実	4
第7節 主体的に学びを生かす生涯学習社会の実現	4
第8節 誇れる歴史、芸術文化の創造	4
第9節 生涯スポーツのまちづくり	4
第3章 【快適で住みよいまちづくり】	3
第1節 秩序ある土地利用の推進	3
第2節 コンパクトで機能的な都市構造の形成	4
第3節 うるおいのある住環境の創出	4
第4節 快適な交通体系の整備	3
第5節 環境にやさしいまちづくり	3
第4章 【安全で安心なまちづくり】	4
第1節 地域が支える防災体制の充実	3
第2節 郷土を守る治山・治水対策の充実	4
第3節 地域ぐるみの防犯対策の充実	4
第4節 消防・救急体制の充実	4
第5節 暮らしの安全の向上	4
第5章 【市民が主役のまちづくり】	3
第1節 市民自治の推進	4
第2節 市民交流の推進	3
第3節 人権尊重と男女共同参画社会の実現	3
第4節 情報の共有化の推進	3
第6章 【地方分権に対応した行財政運営】	4
第1節 自立した行財政運営の確立	4
第2節 行政の広域化への対応	4
第3節 電子自治体の推進	3

第1章 元気な産業づくり

第1節 活力と創造性に満ちた工業の振興

政策 達成度	4 (4)	【特記事項】 ・29年10月に発表された県経済センサスでは、27年の本市の製造品出荷額等は18.8%増の5,627億円と、県全体の27.6%を占めた。	
施策名	取組み概要・結果及び分析		達成度 担当課
(1) 既存産業・企業の自立化の促進と支援	<p>【取組み概要】</p> <p>①販路拡大事業として、ものづくりについて学び・考え・取り組むワークショップ型セミナー「越前ものづくり塾」の開催及び本市出身の工業デザイナーと伝統工芸品の商品開発を支援。</p> <p>②中小・小規模事業者への信用保証付き融資から金融機関の経営指導等をセットにした中小企業等伴走型融資制度を創設。中小・小規模事業者の資金調達・経営計画策定を支援。</p> <p>③企業立地促進補助金のうち、持続的発展生産設備増設等事業補助金により、中小・小規模事業者の持続的発展・事業継続に資する建物・機械設備等の新設・増設・更新の設備投資を支援。</p> <p>【結果及び分析】（カッコ内は28年度実績）</p> <p>①受講者21事業者、10回開催。「オープンファクトリー」の企画・運営等のノウハウを習得。30年度クラフトフェス開催を見越した若手人財ネットワークの構築、及び越前和紙の女性グループによる新商品「金封」（和紙事業所10社延べ30種類）を開発、販売。</p> <p>②29年度中小企業等伴走型融資実績83件、融資金額9億3千万円で、28年度市小規模育成・中小企業振興資金融資実績27件、融資金額1億5千2百万円を大きく上回り、保証協会付から金融機関の経営指導・審査に基づく融資が定着。中小・小規模事業者の資金需要に寄与。</p> <p>③29年度は10件(3件)指定。中小6件(0件)、小規模4件(3件)で、総投資額12億9千万円、新規雇用者数31人。中小・小規模事業者の持続的発展・事業継続に加え、生産性向上を促進。</p>		4 (4) 産業政策課
(2) 創業の促進	<p>【取組み概要】</p> <p>①市内中小企業で働く「ヒト」にスポットを当てモノづくり企業情報を制作、専用ホームページ「越前WORK魂」を充実させ情報発信。</p> <p>②越前ネクストクラフト事業での「女性のための創業支援セミナー」開催。中小企業融資事業での女性等創業支援資金利子補給。展示会等出展支援事業での女性創業チャレンジ出展の支援。産業人材育成事業での女性創業者及びグループへの人材育成講座受講等への支援。</p> <p>③新事業チャレンジ支援事業での新商品の企画・開発、販路開拓、知的財産権の取得への支援及び成果報告について企業訪問（アタック100）によりヒアリング実施。</p> <p>【結果及び分析】（②③のカッコ内は28年度実績）</p> <p>①29年度6事業所を追加掲載（全15事業所）、市ホームページ、住もっさ越前、おうちナビとの相互リンク及びウェブ広告を充実、アクセス数は約1万アクセス。その他、新聞や雑誌でのサイト広告や県内高校2年生を対象に県下高校へチラシを配布。</p> <p>②女性のための創業支援セミナー16人受講、モノづくりフェスタへの模擬出展等の2つの実践を含めて8回のセミナーを開催。女性等創業支援資金利子補給支給3人(0人)、チャレンジ出展支援3件(5件)、産業人材育成支援0件(1件)。27年度から29年度で68人がセミナー受講、7人が創業。</p> <p>③新事業チャレンジ支援事業認定事業者は5事業所(10事業所)であり、研究開発4(4)、販売促進0(3)知的財産取得1(3)。成果報告について、20事業者（研究開発・販売促進）について、ヒアリングを実施、課題を整理・フィードバックへ繋げる。</p>		4 (4) 産業政策課
(3) 企業立地の促進	<p>【取組み概要】</p> <p>①県下トップクラスの企業立地支援制度の堅持と中小・小規模事業者への施策を強化する中で、企業立地促進補助金のうち企業立地補助金や雇用促進補助金により、企業の成長発展及び雇用の創出を促進。</p> <p>②アタック100による企業設備投資情報等の収集及び市産業支援制度、定住施策等をPR。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①29年度は4件指定、投資総額35億4千7百万円、新規雇用者数は65人、うち市内在住者45人、女性エンジニア19人。28年度に指定を行ったアシックスアパレル工業（株）は29年9月30日に、（株）福井村田製作所は11月6日にそれぞれ新工場の竣工式を行った。</p> <p>②市長を先頭に県外本社等（信越化学、信越半導体、オーディオテクニカ、アイシン・エイ・ダブリュ、村田製作所、ナカヤ化学産業）を含め136社の企業訪問、情報交換を実施。</p>		4 (4) 産業政策課

施策評価

(4) 産力強化のための支援体制の構築	【取組み概要】 ①市産学官連携ネットワーク有識者会議を開催し、市産業活性化プランの進捗管理と30年度予算への意見集約を行う。 ②市と3社（信越化学工業武生工場、福井村田製作所、アイシン・エイ・ダブリュ工業）による地方創生に関する包括的地域連携協定に基づき、担当課長レベルでの市・3社連絡会を年間を通して開催。	4 (4)	産業政策課	
	【結果及び分析】 ①ネットワーク有識者会議を2回開催し、雇用対策について地元企業の認知度向上のため、企業説明会や企業見学会の充実、CSR活動の一環でのモノづくり出前講座の充実などの意見集約を行い、30年度へ反映。 ②地方創生の着実な推進に向けて連絡会を7回開催。生産年齢人口確保、雇用・定着・定住化促進に向けた取組み及び企業と地域の共生・まちづくり、地域活性化に向けた取組みについて意見交換。30年度に向けて、雇用対策での連携や中学生の職場教育の充実、市・各社広報での連携、社会貢献活動の充実への取組みについて集約、連絡会を継続。			
(5) 伝統産業の活性化	【取組み概要】 ①市工芸の里構想に基づき、施設整備、販路拡大、後継者育成を図るとともに、産業観光を推進する。 ②紙の文化博物館のリニューアルに伴い、越前和紙の素晴らしさ、日本の歴史・文化に対する貢献度をテーマとして展示会を開催。 ③越前打刃物振興施設の整備に着手。30年8月オープンを目指す。 ④タケフナイフビレッジの改修・増築工事への支援及び独立工房ゾーン整備の取組みを開始。	4 (4)	産業政策課	
	【結果及び分析】 ①市工芸の里構想計画に基づき事業を推進している。和紙は、越前鳥の子紙が10月に国の重要無形文化財の指定を受け、11月から保存会が本格的活動を開始し、後継者育成を行っている。打刃物は、海外の販路を拡大し、海外バイヤーとの商談が増加。筆筒(指物)は、越前筆筒を内外にアピールするために製作した、国宝橋夫人厨子の複製品が完成。3産地の振興は、着実に進行している。 ②紙の文化博物館では、特別展2回、常設展3回を開催。越前和紙の歴史・文化とともに和紙の魅力を多くの人に周知。 ③越前打刃物振興施設建設については、ほぼ計画通りに進行し、産地組合員が使用する工房棟については、常に組合と連携を図り整備を進めた。展示棟と研修棟については、和紙、指物を使用し、市の伝統的工芸品をアピールできるよう心掛けた。 ④タケフナイフビレッジに関しては、周辺の整備計画を踏まえ、観光施設としての方針と将来における独立工房ゾーン整備などを視野に入れ、北陸新幹線の開業を見据えて、実施設計に着手した。			
総合戦略	(i) 企業立地促進補助金利用による雇用増加数(交付決定による雇用増加数)	【取組み実績】 7事業所交付決定、新規雇用者数53人 【方向性】 引き続き、市内企業との連携強化を図り、積極的にPRを強化する。	○	産業政策課
	(ii) 新生活支援サイト「住もっさ！越前市」から市内企業HPへのリンク登録件数	【取組み実績】 日経ウーマンキャリアにて2件、越前WORK魂にて6件、市内企業で働く女性や市内で働く若きスペシャリストを紹介することで、越前市で働くことの魅力をPRした。 【課題】 新規雇用者の市内への移住誘導及び賃貸物件利用者等の定住化 【方向性】 引き続き、市内企業の情報発信を図りたい。	◎	政策推進課

第1章 元気な産業づくり
第2節 魅力ある商業の振興

政策 達成度		4 (3)	【特記事項】 ・中心市街地の重点エリアへの新規出店が増加した。 ・中小小規模事業者向けの新たな伴走型融資制度の融資実績が急増した。	
施策名		取組み概要・結果及び分析		達成度 担当課
施策評価	(1) 小売事業者の活性化促進	【取組み概要】 ①元気な事業者グループ支援事業決定団体数について、延べ45団体を目指す。 ②まちなか開業・地域助け合いビジネス支援事業新規認定件数について、延べ67件を目指し、商業の振興を図る(下記の総合戦略(i)にて詳細記述)。 【結果及び分析】 ①元気な事業者グループ支援事業において、5件の新規決定を行い、目標値どおり45団体を達成した。 ②まちなか開業・地域助け合いビジネス支援事業において、7件の新規認定を行い、目標値を3件上回る延べ70件となった。	4 (3)	商業・観光振興課
	(2) 経営基盤の強化	【取組み概要】 ①商工会議所及び商工会の経営指導事業の充実を図る。 ②市産業活性化プランに基づく、伴走型持続化補助金制度の運用。 ③中小・小規模事業者への信用保証付き融資から金融機関の経営指導等をセットにした中小企業等伴走型融資制度を創設。中小・小規模事業者の資金調達・経営計画を支援。 【結果及び分析】 ①武生商工会議所及び越前市商工会が各々行う経営発達支援計画に基づく伴走型小規模事業者支援推進事業について、その実績の評価等を行う経営発達支援委員会に参画し、市事業との連携を強化。 ②伴走型持続化補助金は、2事業所分の事業枠を拡充して12事業所で経営計画策定・実践。 ③29年度中小企業等伴走型融資実績83件、融資金額9億3千万円で、28年度市小規模育成・中小企業振興資金融資実績27件、融資金額1億5千2百万円を大きく上回り、保証協会付から金融機関の経営指導・審査に基づく融資が定着。中小・小規模事業者の資金需要を支援。	4 (3)	産業政策課
	総合戦略 (i) まちなか開業支援件数	【取組み実績】 ・開業支援の目標値が、27～31年度の5年間で20件となっている。実績は、27年度が6件、28年度が5件、29年度が7件の計18件。 ・29年度に重点エリア(総社通り、京町界限、総社表参道)を設定し、30年度までの2年間の期間限定とし、誘客効果が高い飲食店などの店舗に支援を行ったことが成果の要因と考える。 ・29年7月に、まちづくり武生(株)、武生商工会議所、市内金融機関等の関係機関と、中心市街地の活性化支援のための連携協定を締結し、支援事業の周知、開業情報の収集を行い、商業の振興を図った。 【課題】 これまでの経営支援型では、投資額が低いため店の魅力向上感も乏しく、投資額が大きい飲食業には不向きで、店も散在していたため、効果が見えにくかった。 【方向性】 中心市街地エリアにおいて、重点的に商業活性化を促すエリアを設定し、期間限定で店舗等の出店及び改装を支援することで、まちなかの活力向上を目指す。	◎	商業・観光振興課

第1章 元気な産業づくり
第3節 出会いと感動のある観光の振興

政策 達成度	4 (3)	【特記事項】 ・観光客入込客数が18%増加し、139万人を達成した。 ・菊人形入場者数が78%増加し、16万人を達成した。	
施策名	取組み概要・結果及び分析		達成度 担当課
(1) 観光資源の開発	<p>【取組み概要】</p> <p>①観光客入込客数125万人（34年時点）を目指す（次ページの総合戦略（i）にて詳細記述）。</p> <p>②学生合宿による宿泊者数：3,300人を目指す。</p> <p>③伝統産業の産地等のまち歩きツアーを企画し、積極的にPRする。</p> <p>④ちひろ生誕100年に向け、「ちひろの生まれた家」記念館を整備拡充する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①各観光施設の集客取組みにより、入込客数は139万人と目標値を上回った（28年：118万人）。</p> <p>②湯楽里等の営業努力により、前年より宿泊客数を伸ばした。 （28年度：1,726人泊 → 29年度：2,505人泊）</p> <p>③まち歩きツアーを年12回開催し延べ123人の参加。参加者からは作業現場の裏側や技術の奥深さなどものづくりの原点に触れられたと、好評価を得た。</p> <p>④ちひろの生まれた家は、1階を母文江が武生で暮らした時代の設えに、2階をちひろの東京アトリエ風に再現。さらに、北側建物を絵本ライブラリーとして開設した。</p>		4 (4) 商業・観光振興課
(2) 越前市の魅力発信	<p>【取組み概要】</p> <p>①歩いて観光したくなるような魅力的な観光冊子の作成に取り組む。</p> <p>②市観光協会等が旅行会社にツアー企画を売り込むなど、プロモーション活動を積極的に行う。</p> <p>③福井県を訪れる外国人は極めて少ないことから、県等と連携しインバウンド拡大に取り組む。</p> <p>④3大グルメと料亭文化について、積極的な情報発信を行う。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①市観光協会の観光ガイド「モノ、コト、ココロ旅」は、常にタイムリーな情報を発信できるよう、随時更新した。</p> <p>②市観光協会等と連携し、首都圏、関西・中京方面でのPR誘客活動を実施。集客力の高速道路SAにチラシ等設置（県外旅行社が企画造成したツアー：吉野瀬川の桜並木ツアー、天皇料理番「秋山徳蔵」ランチを食すツアー、岡太神社・大瀧神社老千参百年大祭前のツアー…バス約46台、約1,600人）。</p> <p>③県事業と連携し、市内で体験観光ができる施設を県内在住の外国人に紹介し、SNS等で情報発信を行った。紙の文化博物館などに、多言語対応案内を導入した。</p> <p>④まちなか回遊を推進するため、越前おろしそば、ボルガライス、武生駅前中華そばのグルメマップを作成。越前カニが市内料亭でも食せるということを、観光客に意識づけるパンフを作成。料亭文化と3大グルメは、主要な観光PR戦略として継続して実施する。</p>		3 (4) 商業・観光振興課
(3) 受入れ態勢の整備	<p>【取組み概要】</p> <p>①観光回遊バスの運行、観光・匠の技案内所の運営、ボランティアガイドの活用等により、観光客の受入れ態勢を整える。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①観光回遊バスについては、桜の時期（2日間）、GW（2日間）に運行し、それぞれ573人、920人の利用があった。</p> <p>・地元高校生の授業（17人参加）の一環として、菊人形に來られた方へのおもてなし接客を行った。</p> <p>・観光・匠の技案内所の利用者 7,474人（28年度実績：8,588人）</p> <p>・ボランティアガイドを市広報紙等で募集し、13人を新規登録（16人→29人）。特に、岡太神社・大瀧神社や吉野瀬川の桜については、専門ガイドを養成するため、現地や先進地で3回研修会を行った。</p>		4 (3) 商業・観光振興課

施策評価

(4) 観光イベントの充実		<p>【取組み概要】</p> <p>①たけふ菊人形の入場者数20万人を目指す（プレイベント実施）。</p> <p>②サマーフェスティバルの来場者数10万人を目指す。</p> <p>③式部とふじまつり等市内観光イベントを支援する。</p> <hr/> <p>【結果及び分析】</p> <p>①菊人形入場者数は16万人と、28年の9万人を大きく上回った。増加の理由は、だるまちゃん広場の完成、菊人形入場料の無料化、週末ごとのグルメイベント開催によるもの。</p> <p>②サマーフェスティバルは、ふるさと踊りが7,300人、わっしょい越前が15,000人、花火大会が100,000人と多くの観客が訪れ、3日間合計で約122,300人の来場となった。</p> <p>③市内団体等が実施する観光イベントに支援した（式部とふじまつり、神と紙のまつり、あじまの万葉まつり、はながたみまつり、はながたみもみじまつり）。</p>	4 (3)	商業・ 観光振 興課
総合戦略	(i) 年間観光客入込数	<p>【取組み実績】</p> <p>目標値は、31年時点で110万人となっているが、29年時点で139万人となった（27年：1,124,957人、28年：1,182,202人、29年：1,390,436人）。</p> <p>【課題】</p> <p>観光交流人口の拡大及び経済効果を高めるためには、宿泊施設の充実が重要。本市を訪れる観光客は、日帰り観光が多いのが現状。</p> <p>【方向性】</p> <p>市内宿泊施設の充実強化を図り、観光客の増大に取り組む。</p>	◎	商業・ 観光振 興課

第1章 元気な産業づくり
第4節 地域資源を生かした農業の振興

政策 達成度	4 (4)	【特記事項】 ・集落で防護対策を行う組織が41集落から81集落と大幅に増加した。 ・3法人が新たに立ち上がり、66.3haを集積することができた。	
施策名	取組み概要・結果及び分析		達成度 担当課
(1) からだところを育む食の実現	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①「まるごと食の感謝祭」を開催し、地元農畜産物やそれらを活用した加工品等のPR、食と農に関する体験コーナーを設置。また、各食育推進団体等の活動発表の場を提供。</p> <p>②「地産地消推進の店」を認定し、市産米等をメニューに扱う店舗を市民に広くPRすることで、地産地消の推進を図る。</p> <p>③安全で安心な地場産農産物の生産を図るため、学校給食へ食材を納品する生産者グループへの研修会、また学校給食食材供給事業への地産地消の意識を向上させるため、関係商店や各学校関係者も交え、意見交換会等を実施する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①11月4、5日にAW-Iスポーツアリーナとその周辺で、JA越前たけふとの共催による「まるごと食の感謝祭」を開催し、ご飯食の大切さを啓発する「ごはん塾」もイベント内で実施。2日間で約1万3千人の来場者があり、本市の農畜産物などに係る食の魅力十分に発信した。</p> <p>②「地産地消推進の店」に、市産米をはじめ地場産農畜産物を取り扱う小売店にも認定の枠を広げ、新たに5件認定した。</p> <p>③学校給食へ地場野菜を供給している生産者グループと、学校給食関係者として意見交換会を実施し、各学校の現状や課題等情報共有を図った。学校給食への地場産農産物を供給している団体の高齢化等により、態勢の維持が難しくなっており、食材供給率の向上を図るため、加工品の利用を含め地場産農産物の供給方法を検討する。</p>		4 (4) 農政課
(2) 多様な農業の実現	<p>【取組み概要】</p> <p>①新規就農者や認定農業者等の担い手の育成・確保を図る。</p> <p>②生産コストの軽減を図るため、農地中間管理事業の活用による農地の集積・集約化を図る。</p> <p>③「コウノトリ呼び戻す農法米」に代表される特別栽培米の作付拡大をめざし、環境調和型農業を推進する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①29年度末には、新規就農者12人、認定農業者132経営体（個人95、法人37）、集落営農組織37経営体、計181経営体となった（28年度178経営体）。</p> <p>②29年度の農地中間管理機構による集積面積は165.5ha（28年度105.9ha）で、総集積面積は393.9haとなった。農地の集積化が進み集積率は68.5%（28年度67.0%）となった。</p> <p>③29年度の特別栽培米作付面積は578ha（28年度593ha）で、うちコウノトリ呼び戻す農法米の作付面積は16.4ha（28年度12.5ha）であった。また、冬期湛水269ha（28年度289ha）、中干延期489ha（28年度444ha）と中干延期の取組みが増加した。国の制度を活用しながら付加価値の高い特別栽培米の品質向上や面積拡大を推進し、担い手を中心に環境調和型農業の推進を図るとともに、所得の向上・農業経営の安定を図る。</p>		4 (4) 農政課
(3) 農を基盤とした自然環境と地域社会の実現	<p>【取組み概要】</p> <p>①中山間地域等直接支払制度を活用し、取組み区域の拡大と集約を図る。</p> <p>②農家民宿数を増やし、越前市で農業体験等を通して魅力を発信できるよう受入態勢を整備する。</p> <p>③農地や農業施設の保全を行う多面的機能支払交付金事業については、未組織の集落に対し組織化を働きかけていく。</p> <p>④鳥獣害対策については、集落への組織支援を推進する。</p> <p>⑤県のモデル事業により丹南地域2市3町で糞塊調査等を行い、広域的にシカの捕獲を実施する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①37集落で中山間地域等直接支払制度による農地の多面的機能の確保や地域の活性化が図られた。</p> <p>②新たに農家民宿1軒（北日野地区）を追加登録し、30年度もさらなる登録に向けた研修を実施。</p> <p>③多面的機能支払交付金事業は、1町内が組織化され87組織となり、組織数は農業振興区域の95%をカバーした。</p> <p>④組織支援については29年度81集落が鳥獣害対策組織を設置した（28年度41集落）。被害面積が4.6ha減少し、37.5haとなった。</p> <p>⑤糞塊密度調査等を行い、捕獲モデル事業で9頭のニホンジカを捕獲した。</p>		3 (3) 農政課/農林整備課

第1章 元気な産業づくり
第5節 みどり輝く森林づくり

政策 達成度		3 (3)	【特記事項】 ・市武生中央公園総合体育館、かみなりちゃんのおうちで、木材利用を推進した。		
施策評価	施策名	取り組み概要・結果及び分析		達成度	担当課
	(1) 健全な森林の整備	<p>【取り組み概要】</p> <p>①集落（7団体）との協働による、基幹林道管理を継続的に実施する。 ②水源涵養機能等の森林が持つ多面的機能を維持するため、民有林造林支援事業により間伐等の支援を行う。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①集落（7団体）との協働による基幹林道管理が継続的に行われた。 （L＝21.3km） ②民有林造林・間伐等の整備を森林組合が49.7ha、里山保全団体が9.4haで実施したが、台風による倒木や作業道損傷により施策実施に支障が生じたため目標達成することができなかった。</p>	3 (3)	農林整備課	
	(2) 森林資源の活用	<p>【取り組み概要】</p> <p>①金華山グリーンランドは、施設利用者にダイレクトメールを送付し、利用の促進を図る。 ②ハツ杉森林学習センターでは、森林・林業の研修会等を実施することで後継者の育成や活性化を図る。 ③市木材利用基本方針、市木材利用拡大行動計画に基づき、公共建築物等において、木造化・木質化を推進する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①金華山グリーンランドは、ダイレクトメールを市内企業30社、施設利用者50人に送付し利用促進に努めた。施設利用者は日帰り利用が増加し、5,068人であったが、天候不順のためキャンプ等の利用者が減少し、約30万円の収入減となった。 ②ハツ杉森林学習センターは、29年8月11日に「林業シンポジウム」を開催し、森林インストラクターによる講演、武生工業高校の研究発表、フィールドワークを開催し、林業後継者の育成や活性化を図った。施設利用者は、天候不順のため、キャンプ利用者が減り、14,219人であった。 ③公共建築物等の木材利用件数は4件22,675㎡（市役所本庁舎13,340.42㎡、今立総合支所1,885.47㎡、市武生中央公園総合体育館7,267.87㎡、かみなりちゃんのおうち180.7㎡）であった。</p>	3 (4)	農林整備課	

第1章 元気な産業づくり

第6節 いきいきと働きやすい環境の充実

政策 達成度		4 (4)	【特記事項】 ・市内の雇用情勢は着実に改善している半面、人手不足感が強まっており、企業の規模を問わず雇用が充足されないことが大きな課題となっている。	
施策名	取組み概要・結果及び分析		達成度 担当課	
(1) いきいきと働きやすい環境の充実	<p>【取組み概要】</p> <p>①職業系高校（商業・工業高校）の生徒を対象に中小企業の職場見学会を開催。 ②中小企業の新入社員を対象に職場定着化セミナーを開催。 ③UIJターン就職奨励金を交付（次ページの総合戦略（iii）にて詳細記述）。 ④高校生出前企業説明会を嶺北・嶺南で開催。 ⑤シルバー人材センターにおいて、新規会員の加入促進・就業機会の確保に取り組む。 ⑥勤労青少年ホームによる若者の就労支援事業及び婚活イベントを実施。</p> <p>次の項目については、下記の総合戦略に記載する。 (i)生産年齢人口における社会増減 (ii)I J Uターン者数</p> <p>【結果及び分析】（カッコ内は28年度実績）</p> <p>①武生工業高校と武生商業高校を対象に市内企業の職場見学会を開催し、267人(191人)が参加し、企業及び高校からも評価が高かった。 ②定着化セミナーについては、中小企業が人員確保に苦慮する中、職場定着（離職防止）の取組みとして2回開催、延べ37人(33人)が受講した。 ③UIJターン就職奨励金については、9件交付、対象者17人。 ④7月15日福井新聞社風の森ホール、16日ホテルニューサンピア敦賀で開催。8社が参加。ハローワーク主催の高校生向けサマー求人説明会後であったことから、参加者が10組と少なかった。30年度は、ネットワーク有識者会議での意見を踏まえ、開催の時期や方法等を工夫して、市外の高校生向けの企業説明会を開催する。 ⑤シルバー人材センターの受託実績5,477件(6,008件)、契約金額2億9千6百万円(3億3千4百万円)で、空家・空地等管理代行サービス事業については、116件（内訳：空家62件、空地54件）の受注を受け、28年度受注実績40件（内訳：空家24件、空地16件）を大幅に上回り、需要に応じている。 ⑥勤労青少年ホームにおいて、若者の就労への自立支援を目的に若者サポートステーション出張相談会を開催し、相談者数8人（内訳：本人2人、保護者6人）。婚活イベントを3回開催し、延べ60人以上が参加。</p>		4 (4)	産業政策課
	施策評価	(i) 生産年齢人口における社会増減	<p>【取組み実績】</p> <p>3社連携地方創生推進連絡会など企業との連携強化を図りながら、住宅支援制度の積極的なPR活動を行い職住近接の推進に取り組んだ。また、ワンストップ職員による相談体制の強化や企業人事担当者向け移住定住ファイル「虎の巻」、移住定住パンフレットの作成・周知を行った。</p> <p>【課題】</p> <p>市内企業に雇用された新規雇用者の市内へのさらなる誘導</p> <p>【方向性】</p> <p>引き続き、職住近接による市内定住増を推進していく。</p>	◎
総合戦略	(ii) I J Uターン者数	<p>【取組み実績】</p> <p>都市圏及び関西圏での移住フェアや市役所窓口にて移住に関する相談を受けており、ニーズに合ったワンストップ職員または部署への誘導をしている。29年度は1件の相談が移住につながった。また、30歳の成人式、ビズキャンプ開催支援のほか、武生高校SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の研究課題への参加、企業説明会へ同行を通じ、越前市で住みながら越前市で働くことの快適さをPRした。</p> <p>【課題】</p> <p>I J Uターンを支援する取組みにおいて、県外大学へ進学した学生のUターンが課題</p> <p>【方向性】</p> <p>29年度の取組みを継続するほか、地方創生チャレンジ移住支援制度にて試験的な移住に対する支援を行う。</p>	×	政策推進課

		<p>(iii) UIJターン就職奨励金利用者数</p> <p>【取組み実績】 9件交付、17人対象、奨励金140万円交付</p> <p>【課題】 75人/5年間のKPIに対し、27～29年度で延べ45人を達成（27年度：4人、28年度：24人、29年度：17人）している。補助要綱が29年度末であることから、期限の延長が必要。</p> <p>【方向性】 補助要綱の期限延長（総合戦略の推進期間である31年度末に合わせる）及び申請の経過措置を設け、総合戦略を推進する。</p>	◎	産業政策課
		<p>(iv) すくすくすまいる事業所登録件数</p> <p>【取組み実績】 29年度総登録事業所数 155事業所 優良事業所表彰式を開催し、3事業所を表彰した。</p> <p>【課題】 2年ごとの登録更新時に更新を希望しない事業所がある。</p> <p>【方向性】 更新対象となる事業所に対して企業訪問を行い、仕事と子育ての両立ができる職場環境の取組みの継続依頼と登録の推進に努める。</p>	◎	子ども福祉課

第2章 元気な人づくり

第1節 子どもの笑顔が輝く環境づくり

政策 達成度	4 (4)	【特記事項】 ・「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウムを開催した。 ・ひとり親家庭等児童への学習支援事業を、29年度から新たに実施した。	
施策名	取組み概要・結果及び分析		達成度 担当課
(1) 子どもの人権が保障される社会づくり	<p>【取組み概要】</p> <p>①26年度に策定した市子ども・子育て支援事業計画に基づき、子ども・子育て支援の充実を図る。</p> <p>②市政出前講座や関係機関との個別ケース会議等において、市子ども条例の趣旨について伝え参加者の理解を深める。</p> <p>③「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウムを開催し、市民や当事者をはじめ、自治体関係者、研究者、専門家、NPO等が連携・協力し、子ども支援・子育て支援のあり方や子どもにやさしいまちづくりなどについて意見交換する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①子ども・子育て会議を2回開催し、市子ども・子育て支援事業計画の中間年により、教育・保育の量などの見直しを行った。</p> <p>②市政出前講座等14回、ケース会議210回実施する中で、市子ども条例の趣旨の理解を図った。</p> <p>③当事者性を重要視した施策の展開、民間との協働体制による子ども支援の充実など高評価を得た。一方、子どもの意見や悩みを聞く仕組みやそれらを施策化する仕組みがないことが明確となり、今後、第三者委員会の設置について検討する。</p>		4 (3) 子ども福祉課
(2) 仕事と生活の調和を実現する社会づくり	<p>【取組み概要】</p> <p>①仕事と子育ての両立支援については、すくすくすまいる事業所登録の推進を図り、優良事業所3事業所を表彰する。</p> <p>②里帰り出産サポート助成については、市ホームページでの掲載や母子手帳交付時にチラシを配布し周知に努める。</p> <p>次の項目については、次ページの総合戦略に記載する。 (v) 保育園等の待機児童 (vi) 地域子育て支援センター利用者数</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①登録事業所に対する優遇措置により登録数が増加した。また、表彰した優良事業所の活動紹介チラシを作成して取組みについてPRした。</p> <p>②県内初の取組みであったが利用者が少なかったため、30年度は市情報アプリを利用するなど、さらなる周知方法等に努める（29年度対象者：1人）。</p>		4 (4) 子ども福祉課
(3) 子どもの健やかな成長を育む教育・生活環境づくり	<p>【取組み概要】</p> <p>①29年度末で指定期間が満了する児童センター及び児童館15館の指定管理について選定会議を2回開催し、30年度からの指定管理者の候補者を決定し、12月議会において指定議案を議決する。</p> <p>②放課後児童クラブ事業は、27年度より2人以上の放課後児童支援員の配置が義務付けられ、31年度末までに全クラブの有資格者配置に向け、認定研修への参加を促す。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①市社会福祉協議会を指定管理者として決定した（指定期間3年）。</p> <p>②29年度放課後児童支援員認定資格研修は16人が受講した（27年度15人、28年度18人）。</p>		4 (4) 子ども福祉課

(4) 支援を必要とする子どもとその家族への自立援助体制づくり	<p>【取組み概要】</p> <p>①子ども・子育て総合相談室を拠点に、関係機関と連携し、支援の必要な子どもと家庭に対しワンストップ支援を実施する。</p> <p>②子どもへの支援は、関係機関による援助方針や役割分担の共通理解が重要であるため、必要に応じて個別ケース会議を開催する。</p>	4 (4)	子ども福祉課
	<p>【結果及び分析】</p> <p>①29年度よりひとり親家庭児童等への学習支援事業を実施（開催回数：94回、延参加児童数：670人）。また、まちの相談員を5人配置し、子どもに関する相談体制の充実を図った。</p> <p>②複雑多様化する問題に対し、子ども・子育て総合相談室が調整機関となり、関係機関と連携し、支援を要する子ども等に適切な支援を実施した（相談件数605件うち新規受付件数194件、ケース会議220回）。</p>		
(5) 親子と心と体の健やかな成長を支援する体制づくり	<p>【取組み概要】</p> <p>①5か月児セミナーにおける夢をはぐくむはじめのいっぽ事業において、絵本とバックを贈呈しているが、セミナーや図書館に來られなかった家庭を訪問し、子どもと家庭の状況の把握に努める。</p> <p>②中学生の赤ちゃん抱っこ体験は、赤ちゃん抱っこ隊に赤ちゃんの募集などの事業を委託する（次ページの総合戦略（iv）にて詳細記述）。</p> <p>③県内の産科医療機関等との連携強化のために、「気がかり妊産婦・親子連絡票」を活用を推進する（次ページの総合戦略（vii）にて詳細記述）。</p>	4 (4)	子ども福祉課/ 健康増進課
	<p>【結果及び分析】</p> <p>①セミナーでの配布率64.2%、図書館等での配布率15.1%、家庭訪問での配布率14.3%、転出6.4%という結果で全数把握した。家庭訪問での気がかりな家庭については、子ども・子育て総合相談室へ連絡し適切な支援へつなぐことができた。</p> <p>②赤ちゃん抱っこ体験は、中学生の命の学習として各学校に浸透してきている。</p> <p>③医療機関との連絡票の活用により、特定妊婦やハイリスク妊婦などとの早期のかかわりが可能になり、切れ目ない支援に繋がっている。</p>		
(i) 婚姻数	<p>【取組み実績】</p> <p>結婚相談事業を定期的で開催するとともに、結婚を望む者同士の婚活イベントや交流サロンを開催した。</p> <p>【課題】</p> <p>婚活イベント開催後、カップル成立数の把握などの追跡調査の実施が課題である。</p> <p>【方向性】</p> <p>婚活イベントなどの事業効果を把握する指数として、カップル成立数の把握方法など追跡方法について検討する。</p>	△	子ども福祉課
(ii) 出会いの場の創出支援件数	<p>【取組み実績】</p> <p>出会いの場の創出事業を5回実施し、134人の参加があった。</p> <p>【課題】</p> <p>事業実施の支援について、補助金交付要綱の審査項目が厳しく補助金交付申請に至らない事業があった。</p> <p>【方向性】</p> <p>補助金交付要綱について、30年度に他市町の要綱等を参考にしながら検討する。</p>	○	子ども福祉課
(iii) 親同士の結婚情報交換の場の提供回数	<p>【取組み実績】</p> <p>結婚を望む親同士の交流サロンを6回、講師を招いた婚活情報交流会を1回開催し、合計100人の参加があった。</p> <p>【課題】</p> <p>親同士の交流サロンについては、開催周知期間が短かく参加者が少なかった。</p> <p>【方向性】</p> <p>親同士の交流会サロンにより多くの方が参加できるように、年度当初に開催日を計画し、周知方法及び周知期間の改善に取り組む。</p>	○	子ども福祉課

総合戦略	(iv) 中学校での命のぬくもり(赤ちゃんだっこ)体験学習の実施率	<p>【取組み実績】 市内すべての中学校で命のぬくもり体験学習として赤ちゃん抱っこ体験を開催できた。参加生徒数747人 参加赤ちゃん組数 実266組 延325組</p> <p>【課題】 10月に集中する体験学習の赤ちゃんの確保</p> <p>【方向性】 赤ちゃん抱っこ隊、中学校、学校のPTA、健康増進課などが連携し年間を通じて、事業の重要性や参加募集について啓発していく。</p>	○	健康増進課
	(v) 保育園等の待機児童	<p>【取組み実績】 保育士の確保については、市広報紙等で募集し、民間保育園の保育士においては人件費加算の処遇改善を行った。</p> <p>【課題】 保育教諭の業務負担感の軽減を図り、離職率を抑制する。</p> <p>【方向性】 公立の子ども園・保育園に、事務補助職員を配置し業務負担の軽減と効率化を図るなど、働きやすい環境に努める。</p>	○	子ども福祉課
	(vi) 地域子育て支援センター利用者数	<p>【取組み実績】 市内4箇所の支援センターにて、絵本の読み聞かせや親子教室などを積極的に開催し、来所や電話等での子育て相談にも対応した。</p> <p>【課題】 利用者数は一定しているが、一緒に行く友人がいない等の理由から参加できない保護者がいる。</p> <p>【方向性】 母子保健による赤ちゃん訪問や、市情報アプリ「えつつぶ」（えっちゃんのつぶやき）の活用によるアプローチで、気軽に出かけられるような工夫をする。</p>	◎	子ども福祉課
	(vii) 妊娠及び乳幼児の状況把握率	<p>【取組み実績】 妊婦の健診回数平均11.1回/14回 乳児把握率100% 医療機関との連絡票の活用により、特定妊婦やハイリスク妊婦などとの早期のかわりが可能になり、切れ目ない支援に繋がっている（連携紹介実績49件）。</p> <p>【課題】 外国人への適切な指導の実施 気がかりな妊・産婦などの切れ目ない支援体制</p> <p>【方向性】 医療機関、市町、要保護児童対策協議会等との連携の強化（疾患を有する妊婦等の増加、転出転入等で支援が途切れがちなケースの対応）</p>	○	健康増進課

第2章 元気な人づくり

第2節 安心して暮らせる長寿社会の実現

政策 達成度		4 (4)	【特記事項】 ・身近なところで介護予防ができる環境づくりを進めた結果、要介護認定率が減少し、県内17市町で一番低い数値となった。
施策名	取組み概要・結果及び分析		達成度 担当課
施策評価	(1) 健康と生きがいがづくり	<p>【取組み概要】</p> <p>①住民主体の介護予防・日常生活支援が広がるよう17地区全地区に地域支え合い推進員（第2層）を配置するとともに、高齢者の日常生活支援体制整備を進める。</p> <p>②いきいきふれあいのつどい開催200箇所を目指す。</p> <p>③いきいきシニアクラブの会員増を図る。</p>	4 (4) 長寿福祉課
		<p>【結果及び分析】</p> <p>①全地区地域支え合い推進員（第2層）設置完了（25人）。日常生活支援活動団体は1箇所増の3箇所が実施した。30年度はさらなる地域での高齢者支援を推進する。</p> <p>②29年度末で200箇所開催完了（29年度当初 190箇所）。</p> <p>③新規会員数の増加が図られた（4クラブ 388人増加）。</p>	
	(2) 高齢者福祉の充実	<p>【取組み概要】</p> <p>①認知症施策の推進として、地域での徘徊模擬訓練を実施。</p> <p>②在宅医療と介護の連携を図る。</p> <p>③在宅生活を支える地域密着型施設の計画的な整備を図る。</p>	3 (4) 長寿福祉課
		<p>【結果及び分析】</p> <p>①29年度5地区訓練を実施する予定であったが、4地区（東・国高・白山・服間）実施した。大雪のため1地区中止。30年度については開催地区の増加を図る。</p> <p>②多職種連携会議2回、地域ケア（推進・個別など）会議12回、地域医療協議会連絡会1回を実施。</p> <p>③地域密着型介護施設として認知症グループホーム1箇所整備。小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護は整備できなかった。第7期市高齢者福祉保健計画・介護保険事業計画に基づく施設整備を行う。</p>	

第2章 元気な人づくり

第3節 障がい者が安心して暮らせるまちづくり

<p>政策 達成度</p>	<p>4 (3)</p>	<p>【特記事項】 ・在宅支援や外出支援などのサービスの向上が図られた。</p>	
<p>施策評価</p>	<p>施策名</p>	<p>取組み概要・結果及び分析</p>	<p>達成度 担当課</p>
	<p>(1) 障がい者が安心して暮らせるまちづくり</p>	<p>【取組み概要】 ①福井しあわせ元気大会に向け、障がい者スポーツの振興やボランティアの育成を図る。また、重度障がい者の移動支援の拡充を図るためタクシー券助成の見直しを行う。 ②市障がい福祉計画及び市障がい児福祉計画において、各種障害福祉サービスの必要量を見込むとともに、市の実情に応じたサービスを提供するための体制や推進のための方策を定める。 ③障がい者への地域相談支援体制の整備を図るため、若越みどりの村改築に対し助成を行う。</p> <p>【結果及び分析】 ①障がい者スポーツクラブ等を支援し、手話等ボランティア育成を行った。タクシー券助成を初乗料金から500円券に見直し、利便性が高まり利用増となった。 ②第5期市障がい福祉計画及び市障がい児福祉計画を策定し、32年度までの障害福祉サービスの必要量を見込み、市の実情に応じたサービス提供体制や推進のための方策を定めた。 ③若越みどりの村改築助成により、地域生活支援拠点等の機能に加え、在宅利用者の送迎サービスの充実と災害時の緊急避難所機能が備わった。30年2月の大雪で初めて福祉避難所を開設した。</p>	<p>4 (3) 社会福祉課</p>

第2章 元気な人づくり
第4節 健やかで元気に暮らせるまちづくり

政策 達成度		3 (3)	【特記事項】 ・国民健康保険税の改定が決まり、国保財政の安定的な運営の見通しが ついた。
施策名	取り組み概要・結果及び分析		達成度 担当課
施策評価	(1) 健康づくりの推進	<p>【取り組み概要】</p> <p>①市健康21計画（第3次）の策定を行う。 ②健診を2年以上受診していない40歳代～60歳代を中心に、スマートフォンを利用し自宅で採血して検査する「スマホドック」を行う。 ③健康診査の費用について無料、500円、1,000円と分かりにくかった料金体系を500円に統一する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①市健康21計画の改定に伴い、行動指針に新たに禁煙の項目を追加し、たばこ対策宣言を行うこととした。 ②スマホドックは、定員を90人に設定し、すぐに定員に達したが検査ができた人は74人であった。結果は医療機関の受診を要する人も多く、動機づけにつながった。 ③特定健診の受診率は、28年度31.0%であった。また、28年度から胃がん検診が隔年実施になったことで、（健康診査と併せて検診を受ける人が多いため）29年度の受診者が減っている。</p>	3 (4) 健康増進課
	(2) 身近な医療の確保	<p>【取り組み概要】</p> <p>①地域医療協議会連絡会を開催し、高齢者のみならず各年代の地域医療の課題について話し合う。 ②母子保健推進会議では小児科医、産婦人科医と市の母子保健の課題を共有する。また、歯科保健会議を開催し、全年代の歯科保健の方向性について検討する。 ③多職種連携会議を開催し、それぞれの職種における現状を話し合い、課題を共有する。</p> <p>次の項目については、下記の総合戦略に記載する。 (i)合計特殊出生率</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①地域医療協議会連絡会の位置づけを明確にし、課横断的な会議として、地域医療の課題を検討する場としていく。 ②母子保健、歯科保健各々個別の課題ではあるが、医師等との情報共有、連携をとることができた。 ③職種により各々個別の課題があるが、多職種が情報を共有し、話し合い、課題を共有する連携会議を行うことで地域包括ケアが推進できた。</p>	4 (3) 健康増進課
	(3) 国民健康保険と高齢者医療	<p>【取り組み概要】</p> <p>①国民健康保険税の収納率向上対策を強化する。 ②医療費の抑制対策を強化する。 ③30年度から県が財政運営の責任主体となる国民健康保険制度に移行するため計画的に準備を進める。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①市民福祉部内に国税徴収班を設置し、臨戸徴収を開始してから約3年が経過し、収納率が年々向上している。3月末で前年度比較1.85%増の収納率となっている。 ②窓口、通知、市広報紙等による特定健診・人間ドックの受診推進、ジェネリック医薬品の使用推進を実施した。ジェネリック使用率は3月末で前年度比4.0%増の75.1%。また、医療費は前年度比1.1%減。 ③県の国保運営方針に基づき、市の国保財政の安定化が図られるよう30年度の国保税率を改定した。また、各戸配付による通知のほか市広報紙、市ホームページ、ラジオ、CATVなどで周知を図った。</p>	4 (3) 保険年金課
	総合戦略 (i) 合計特殊出生率	<p>【取り組み実績】</p> <p>婚姻届出時に「不妊治療の豆知識」を配布。また特定不妊治療に対する助成の実施。29年度実績は82件（28年度80件）。</p> <p>【課題】</p> <p>夫婦揃ってなるべく早い段階での不妊治療の必要性に気付くための検査の必要性の周知。</p> <p>【方向性】</p> <p>県が30年度から新規に不妊治療に至るまでの検査費などを助成することと併せ、より積極的に周知を図る。</p>	△ 健康増進課

第2章 元気な人づくり
第5節 助け合い、支え合う地域社会の形成

政策 達成度		4 (4)	【特記事項】 ・町内福祉連絡会の実施町内の割合を把握することができた。さらなる実施率向上を目指す。
施策名	取り組み概要・結果及び分析		達成度 担当課
施策評価	(1) 地域ぐるみ福祉の推進	<p>【取り組み概要】</p> <p>①地区福祉ネットワーク会議を全17地区で開催（町内福祉連絡会の運営手順書の説明等） ②町内福祉連絡会の自主的な実施を目指す（年度目標は50%。市行財政構造改革プログラムより）。 ③町内福祉連絡会の未実施町内の支援方針を検討する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①17地区全地区において地区福祉ネットワークを開催し、町内福祉連絡会の運営手順について説明会を開催した。また2回目の結果報告会も全地区において開催した。 ②町内福祉連絡会の開催状況は263町内中、174町内で66%であった。 ③未実施の町内の割合を把握することができた。地区の特性を生かした支援を市社会福祉協議会とともに進行。</p>	4 (4) 社会福祉課
	(2) 生活困窮者へのセーフティネット	<p>【取り組み概要】</p> <p>①自立相談支援事業については、地域での見守りや関係機関との連携を強化し早期発見、早期対応を行い、対象者に応じた細やかな寄り添い支援を行う。 ②就労準備支援事業については、一人ひとりの課題に応じた寄り添い支援を行い、多様な就労体験を通し就労につながる支援を行う。 ③被保護者については、就労支援員を中心に関係機関と連携し、自立した生活に向け支援を行う。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①相談件数は131件で就労支援対象者18人中新規就労者13人、就労活動開始者16人であった。地域・関係機関とのさらなる連携強化を図り支援を行って行く。 ②就労準備支援事業については、前段階での複雑な背景の支援について充実を図り、段階的な寄り添い支援へとつなぐ。 ③被保護者については、ハローワークをはじめ関係機関と連携を図り、就労事業参加者36人中就労・増収者16人、就労による廃止6人となった。</p>	4 (4) 社会福祉課

第2章 元気な人づくり
第6節 人間力を高める教育の充実

政策 達成度	4 (4)	【特記事項】 ・小中学校における日本語初期指導、ことば指導員等の配置増により、外国人児童生徒の支援体制の充実に努めた。	
施策名	取組み概要・結果及び分析		達成度 担当課
(1) 就学前教育の充実		<p>【取組み概要】</p> <p>①質の高い幼児教育を提供し、子ども・子育て支援の充実に図る。 ②多子世帯への保育料軽減に継続して取り組む。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①丈生幼稚園が子ども子育て支援新制度に移行したため、手続きの連携を図った。また、新制度に移行していない園へも制度の説明を行い、制度の周知に努めた。 ②幼稚園の保育料は、27年度から公私立ともに18歳以下の児童が二人以上いる世帯は、第2子を半額に、第3子以降を無料とし、多子世帯の経済的負担を引き続き軽減した。</p>	4 (4) 教育振興課
(2) 義務教育の充実		<p>【取組み概要】</p> <p>①外国青年招致事業(JET)の活用によるALTを小学校に3人配置し、外国語活動の教科化に向け、ネイティブ・スピーカーによる授業支援の充実に図る。 ②「夢の教室」や「夢先生協働事業」について、日本サッカー協会(JFA)と27年度に締結した3年間の協定に基づき、引き続き事業を推進する(次ページの総合戦略(iii)にて詳細記述)。 ③学校ICT(情報通信技術)環境を効果的に活用し、教育の情報化を推進する。</p> <p>次の項目については、次ページの総合戦略に記載する。 (i)小中学校での人口問題に関する教育実施率 (ii)小中学校での地元企業見学会の実施率 (iv)小中学校における「ふるさと教育」(越前市への愛を育む教育)</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①小学校専属ALTを引き続き3人体制とし、外国語活動の教科化に向け小学校3～6年対象のネイティブ・スピーカーによる授業支援を月1回行った。 ②小学5年生が27回、中学2年生が29回、合計56回の夢の教室を開催し、豊かな心、夢や希望を持って生きる力の育成ができた。 ③学校ICTを活用した授業が全小中学校で日常的に行われ、また、校務支援システムの整備により教職員の事務負担が軽減されたことで、教職員が児童生徒と関わる時間や教員間の連携のための時間が増え、教育の質の向上に寄与した。</p>	4 (4) 教育振興課
(3) 高等教育などの充実		<p>【取組み概要】</p> <p>①奨学金の貸付を受けた人が卒業後、市内に定住した場合に奨学金の償還金の一部を免除する制度のPRに努め、利用を推進し、若い世代の定住化促進を図る。 ②福井高専との共催によるロボットコンテストを開催し、モノづくりに対する創造意欲の育成を図る。 ③仁愛大学の学生に立地自治体への理解を深めてもらうことにより、地元の充実発展を担う一員であることへの意識づけや定住促進につなげる。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①奨学金の一部償還免除制度の実績は、27年度4人、28年度6人、29年度は7人であった。丹南地区の県立高校と福井高専及び福井市内の私立高校12校を直接訪問するとともに、その他の県内高校35校には募集案内や掲示板チラシを郵送し、制度の周知・PRを図った。 ②28年度から新設された小学生によるチャレンジ部門には21チーム55人が参加し、28年度と比べると10チーム27人の増加となり、モノづくりの意欲や技術向上に繋がった。 ③仁愛大学1年生には、本市をフィールドとした地域学習の授業として、たけふ菊人形やパピルス館等の見学、市計画の講義等を行った。2年生には、「ふくい総合学(越前市版)」において市長及び市職員が市の施策に関する講義を行った(受講生約90人)。</p>	4 (4) 教育振興課/政策推進課
施策評価 (4) 青少年の健全育成		<p>【取組み概要】</p> <p>①青少年を取り巻く有害環境対策として「児童をネット被害から守る」「子どもを犯罪被害から守る」という2項目を重点目標に設定し、取組みを推進する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①インターネット利用のルールを定めた「我が家のインターネット10カ条」を親子で年3回順守確認し、ペアレンタルコントロール(親の管理)委員会を3回開催した。</p>	4 (4) 生涯学習課

総合戦略	(i) 小中学校での人口問題に関する教育実施率	<p>【取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学4年生と中学2年生の社会において人口について学習した。指導計画の中に位置づけられており実施率は100%であった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会状況の変化等により、越前市の人口問題や考えるべき地域課題が増えることが予想される。 <p>【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30年度も教科書の内容は、29年度と同様となるため、小中学校においては継続的な取組みを行う。 	○	教育振興課
	(ii) 小中学校での地元企業見学会の実施率	<p>【取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学3年生の社会科単元「はたらく人とわたしたちの暮らし」で、企業見学やインタビューを行い、企業の仕事内容や工夫、他の地域との関わりを学習した。 ・中学2年生が、夏休みを中心に1～2日程度、地元企業見学や現場の仕事の体験など、職場体験学習を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校においては、地元企業の協力についての苦労はあるが、勤労観・職業観の育成、進路の意識や意欲の向上等に成果をあげた。 <p>【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30年度も小中学校の学習内容は29年度と同様のため、継続的に取り組む。 	○	教育振興課
	(iii) 小中学校における「夢の教室」実施率	<p>【取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校における「夢の教室」実施率100%：小学5年生27回、中学2年生29回、合計56回 <p>【課題】</p> <p>全国学力・学習状況調査の中における「子どもたちが夢を持っているかどうか」の29年度の調査結果は、小学6年生が80.0%（全国平均70.0%、県平均78.0%）、中学3年生が63.2%（全国平均45.3%、県平均57.7%）と、全国や県の平均を大きく上回った。本市の全ての子どもたちが将来の夢や目標を持てるよう、継続的な取組みが必要である。</p> <p>【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30年度においても、今後3年間の協定を日本サッカー協会と再締結し、本市の全ての子どもたちが将来の夢や希望を持てるよう取り組んでいく。 	○	教育振興課
	(iv) 小中学校における「ふるさと教育」（越前市への愛を育む教育）	<p>【取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校においては社会科副読本「わたしたちの越前市」を活用し本市の暮らしについて学習した。また、「地域と進める体験推進事業」は13校が指定を受け、地域の課題を自ら改善する体験学習を実施した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域と進める体験推進事業」では、充実した活動とするために、地域コーディネーターの確保が必要となる。 <p>【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域と進める体験推進事業」においては、30年度はすべての小中学校が指定校となるため、すべての地区で充実した活動が展開されることが予想される。 	○	教育振興課

第2章 元気な人づくり

第7節 主体的に学びを生かす生涯学習社会の実現

<p>政策 達成度</p>	<p>4 (4)</p>	<p>【特記事項】 ・だるまちゃん広場やかかさとしふるさと絵本館「硯」など、図書館の周辺施設と連携し、事業の開催や団体貸出を推進するなど、子どもの読書環境の整備、支援を行った。</p>			
<p>施策評価</p>	<p>施策名</p>	<p>取組み概要・結果及び分析</p>		<p>達成度</p>	<p>担当課</p>
	<p>(1) 生涯学習の充実</p>	<p>【取組み概要】 ①子どもを真ん中において地域の大人が協力することで、地域のコミュニティづくりを推進するとともに、地域への積極的な関わりを促す。 ②読書推進については、読書のまちフェスティバル等の実施や、学校・福祉施設等への団体貸出の利用拡大を図るなど、読書のまち宣言の取組みを推進する。 ③子どもの読書活動推進については、28年度末に改定した市子ども読書活動推進計画に基づき、家庭・地域・学校が連携して子どもの読書活動を支援する。</p>	<p>4 (4)</p>	<p>生涯学習課/図書館</p>	
		<p>【結果及び分析】 ①子ども会壁新聞コンクールに全地区で341人参加、子ども会かるた大会に14地区で139人参加、成人式参加率87.2%、同地区の集い全17地区で実施。 ②「本の福袋」や季節のイベント等各種事業の実施、館内特集コーナーの充実、学校や福祉施設等への団体貸出の推進により、来館者や貸出冊数の増加を図った。 ③図書館の周辺施設と連携した事業の開催や、職員やボランティアによる読み聞かせ・ブックトークの実施、学校等との連携により、子どもの読書環境の整備・支援を図った。</p>			
	<p>(2) 家庭及び地域における教育力の向上</p>	<p>【取組み概要】 ①出かける家庭教育サロンとして、家庭教育推進員を派遣し学習機会を提供するとともに、親同士の仲間づくりを進め、子育てを支援する。 ②子ども達の放課後の安全安心な居場所づくりと様々な体験活動の場の提供のため、地域住民の参画により、全地区で放課後子ども教室や合宿通学の推進を図る。</p> <p>【結果及び分析】 ①出かける家庭教育サロンを21団体、36件実施し、学習機会の提供、親同士の仲間づくりを支援し、家庭教育の充実を図ることができた。 ②放課後子ども教室を全17地区で実施し、子ども達の居場所を確保しながら様々な体験活動を実施。合宿通学390人参加(14地区)、宿泊体験31人参加(3地区)</p>	<p>4 (4)</p>	<p>生涯学習課</p>	

第2章 元気な人づくり
第8節 誇れる歴史、芸術文化の創造

政策 達成度	4 (4)	【特記事項】 ・武生公会堂記念館では、小中学校、大学の学習利用や、保育園等の福祉施設や自治振興会が開催する野外活動時の利用を働き掛けたことにより、幅広い年齢層の来館を得た。	
施策評価	施策名	取組み概要・結果及び分析	達成度 担当課
	(1) 芸術・文化の振興	<p>【取組み概要】</p> <p>①市民の芸術・文化活動が発展的、継続的に行われるように、活動団体に対し様々な方法で支援を行う。</p> <p>②芸術鑑賞機会を拡充するために、市民総合文化祭を開催し参加を促進したり、優れた芸術・文化の鑑賞機会を提供する。</p> <p>③芸術・文化活動を担う市民の拡大を図るため、関係機関が連携し、子どもが参加できる事業の実施やAEによる舞台活動の支援を行う。</p>	4 (3) 文化課
		<p>【結果及び分析】（カッコ内は28年度実績）</p> <p>①文化向上に貢献する事業に対する補助や全国大会出場に対する奨励金等、様々な方法で支援を行い、29年度は特に広報に注視して活動を支援した。市ホームページトピックス掲載166件（77件）</p> <p>②市民総合文化祭に幅広い世代の参加を実現するために、芸能祭に文化協議会加盟以外の団体にも参加を促した。参加団体2団体（0団体）</p> <p>③文化協議会、文化振興事業団と連携し、幼小中学生体験学習161人（197人）を開催するとともに、市総合文化祭のいけばな展で子どもの作品を展示した。10人（0人）</p>	
	(2) 歴史的資源の継承と活用	<p>【取組み概要】</p> <p>①市内に残る文化財の把握に努めるため調査研究を行い、重要なものについては、市の文化財に指定するとともに、国府関連遺跡調査等を継続実施する。</p> <p>②指定及び登録文化財の修理保存事業を支援するとともに、伝統産業の技術や製作用具、関係資料等について、文化財保護の観点で横断的に指導・調査を行う。</p> <p>③武生公会堂記念館における展示や体験学習等により、本市の誇れる歴史・文化等について、幅広く情報を発信するとともに保存保管ができる施設の充実に努める。</p>	4 (4) 文化課
	<p>【結果及び分析】（カッコ内は28年度実績）</p> <p>①文化財指定や寄贈寄託の件数を増加した。国県市指定文化財236件（231件）[29年度 市3件、県2件、国2件]、寄託・寄贈件数160件（147件）</p> <p>②越前鳥の子紙について、産業政策課と連携し文化財保護の観点で横断的に指導した。現地指導支援5回</p> <p>③武生公会堂記念館展示（特別展・館蔵品展を5回開催、常設展をリニューアル）や学集楽の充実に努めた。入館者数15,920人（15,702人）、学集楽19回514人（11回224人）</p>		

第2章 元気な人づくり
第9節 生涯スポーツのまちづくり

政策 達成度		4 (3)	【特記事項】 ・市武生中央公園総合体育館が完成し、「する」スポーツはもとより、記念イベントに多くの市民が来場して「みる」スポーツの推進が図られた。	
施策評価	施策名	取り組み概要・結果及び分析		達成度
	(1) 生涯スポーツのまちづくり	<p>【取り組み概要】</p> <p>①市スポーツ推進プランに基づき、「する」「みる」「ささえる」の観点から生涯スポーツを推進する。</p> <p>②30年開催の「福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会」については、魅力ある国体となるよう準備を進めるとともに本市開催種目の施設整備を図る。</p> <p>③市スポーツ施設再配置計画や武生中央公園再整備計画に基づきスポーツ施設の整備を進めるとともに、スポーツ施設の効果的で効率的な運営・維持管理を推進する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①市体育協会や市スポーツ推進委員会等と連携し、市民体育大会、菊花マラソン、スポーツ教室などの開催や学校体育施設の開放によりスポーツの推進を図った。</p> <p>②③計画に基づき、市武生中央公園総合体育館、庭球場管理棟を国体開催に向け整備した。また、市武生中央公園総合体育館を本市で二例目となるネーミングライツにより越前市AW-Iスポーツアリーナと命名し、3年ぶりとなる興業（バスケットボール女子日本リーグ）を開催し、1,554人もの市民が来場した。</p>		4 (3)

第3章 快適で住みよいまちづくり

第1節 秩序ある土地利用の推進

<p>政策 達成度</p>	<p>3 (4)</p>	<p>【特記事項】 ・市立地適正化計画に基づき一定規模以上の開発や建築に対し、届出制度の運用を開始した結果、届出は14件あった。今後も本市のコンパクトシティ形成に対する考え方を広く市民・事業者等への周知を図る。</p>	
<p>施策評価</p>	<p>施策名</p>	<p>取組み概要・結果及び分析</p>	
	<p>(1) 秩序ある土地利用の推進</p>	<p>【取組み概要】 ①市都市計画マスタープランの土地利用方針達成のため、市住みよい街づくり推進条例に基づき、適正な宅地開発の規制誘導を図るとともに、地域街づくり計画策定のための支援等を行う。 ②28年度に策定した市立地適正化計画に基づき、都市機能誘導区域への医療、福祉、商業施設などの誘導や、居住誘導区域への緩やかな居住の誘導を図る。このため、誘導区域外で一定規模以上の住宅開発や誘導施設の整備を行う場合の届出制度の運用を開始する。</p>	<p>達成度</p>
	<p>【結果及び分析】 ①開発行為等の申請者に対し、事前協議を10件施し、適正な誘導を図るとともに、地域街づくり計画策定のための支援等を7回行った。 ②市立地適正化計画の誘導施策に基づき届出制度の運用を開始したところ、14件の届出があった。まちづくりの基本目標「持続可能なネットワーク型コンパクトシティ」の実現を目指すため、今後も市政出前講座等の説明会を開催し、本市のコンパクトシティ形成に対する考え方を広く市民・事業者等への周知を図る。</p>	<p>3 (4)</p>	<p>都市計画課</p>

第3章 快適で住みよいまちづくり
第2節 コンパクトで機能的な都市構造の形成

政策 達成度	4 (4)	【特記事項】 ・第3期市中心市街地活性化基本計画に基づく取組みにより、移住者数100人、市民活動回数86回、まちなか開業件数7件の実績があった。	
施策名	取組み概要・結果及び分析		達成度 担当課
(1) 魅力ある中心市街地の形成	<p>【取組み概要】</p> <p>①28年度に策定した第3期市中心市街地活性化基本計画に基づき、各種施策に取り組み、中心市街地の活性化を図る。</p> <p>②まちづくり武生(株)と連携し、“まちの顔づくり”“暮らしの再生”“賑わいの再生”の3つのテーマのもと、中心市街地の居住促進、にぎわい創出、商業振興等に総合的に取り組む。</p> <p>次の項目については、次ページの総合戦略に記載する。 (i)まちなかでの市民活動の回数</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①28年度の取組みに対する定期フォローアップを実施した結果、目標達成の見通しとしては、「取組みの進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる」との評価となった。</p> <p>②29年度の取組みの結果、施策による移住者数100人、活性化に寄与する市民活動の回数86回、施策によるまちなか開業件数7件の実績があった。</p>		4 (4) 都市計画課/商業・観光振興課/建築住宅課
(2) 質の高い一般市街地の形成	<p>【取組み概要】</p> <p>①市都市計画マスタープランの土地利用方針達成のため、市住みよい街づくり推進条例に基づき、適正な宅地開発の規制誘導を図るとともに、地域街づくり計画策定のための支援等を行う(再掲)。</p> <p>②28年度に策定した市立地適正化計画に基づき、都市機能誘導区域への医療、福祉、商業施設などの誘導や、居住誘導区域への緩やかな居住の誘導を図る。このため、誘導区域外で一定規模以上の住宅開発や誘導施設の整備を行う場合の届出制度の運用を開始する(再掲)。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①開発行為等の申請者に対し、事前協議を10件実施し、適正な誘導を図るとともに、地域街づくり計画策定のための支援等を7回行った(再掲)。</p> <p>②市立地適正化計画の誘導施策に基づき届出制度の運用を開始したところ、14件の届出があった。まちづくりの基本目標「持続可能なネットワーク型コンパクトシティ」の実現を目指すため、今後も市政出前講座等の説明会を開催し、本市のコンパクトシティ形成に対する考え方を広く市民・事業者等への周知を図る(再掲)。</p>		3 (4) 都市計画課
(3) 自然と調和した田園森林地域の形成	<p>【取組み概要】</p> <p>①水田魚道を2箇所整備する。また不耕作水田において、コウノトリの餌となる水生生物の生息環境を整備する。</p> <p>②特定外来生物の拡大の防除、希少野生動植物を保全していくための研修会の開催、産卵場所や生息地の保全活動を実施する。</p> <p>③コウノトリが舞う里づくりを普及啓発するため、「コウノトリが舞う里づくり大作戦」や「ごはん塾」などを開催し、コウノトリPR館ではコウノトリに関する展示を実施する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①水田魚道を2基(下別所町)、水田退避溝を黒川町、中野町、二階堂町の3箇所に延279m、休耕田ビオトープを中山町、上杉本町、中津原町の3箇所に延べ0.7haを整備し、多様な生物が生息できる環境を創出した。これらの環境整備とともに環境に配慮した農業が拡大したことで、自然環境が再生され、8羽のコウノトリが飛来した。29年2月の野外コウノトリの産卵に続き、30年においても、巣に戻ってきている姿が確認されている。今後も、野外定着を目指し市内全域でコウノトリの餌場環境の整備を実施する。</p> <p>②特定外来生物ブラックバス、ブルーギルの駆除、オオフサモのモニタリングと駆除活動を実施した。また、希少野生生物保全研修会を開催した。今後も、これらの研修会を開催するほか、「SATOYAMA親子レンジャー」や「ごはん塾」等の里地里山の保全再生に関するイベントを開催し、学びの場を提供する。</p> <p>③10月7日「コウノトリが舞う里づくり大作戦」を開催。8日には昭和46年に白山・坂口地区に飛来したくちばしの折れたコウノトリ「コウちゃん」の孫にあたる2羽のコウノトリの放鳥式が、福井県により安養寺町で開催された。「コウノトリが舞う里づくり図画コンクール(応募作品323点)、写真コンテスト(33点)」により市内小学生や市民に事業の周知が図られた。</p>		4 (4) 農政課

総合戦略	(i) まちなかでの市民活動の回数	<p>【取組み実績】 まちづくり武生(株)によるイベントサポート等もあり、武生中央公園だるまちゃん広場や蔵の辻、北府駅における定期イベント開催など、各種団体の自主的な活動によりイベント回数は86回を達成した。</p> <p>【課題】 取組みの進捗状況は概ね順調であり、目標達成可能と見込まれる。このため、引き続き、蔵の辻を中心としたイベントに対し、支援を継続していく必要がある。</p> <p>【方向性】 今後は、新庁舎（交流広場）等の新たな活動拠点を整備し、市民への利用の働きかけ、また大学生や市民団体に対するイベント支援制度の周知等を行い、新規イベントの誘致を目指す。</p>	○	都市計画課/商業・観光振興課
------	----------------------	---	---	----------------

第3章 快適で住みよいまちづくり
第3節 うるおいのある住環境の創出

政策 達成度	4 (3)	【特記事項】 ・日本を代表する絵本作家かこさとし氏の監修を受けた武生中央公園だるまちゃん広場等の供用を開始し、多くの人で賑わう。	
施策名	取組み概要・結果及び分析		達成度 担当課
(1) 良好な都市景観の形成	<p>【取組み概要】</p> <p>①良好な景観の形成を図るため、市景観計画、市景観条例、県屋外広告物条例に基づき、景観形成基準等を遵守するよう適切な規制誘導を行う。</p> <p>②個性的でうるおいのある景観づくりを推進するため、街並み景観整備事業等により、景観を保全する。</p> <p>③ふるさと百景を生かした景観づくり推進事業の推進を図るため、地域の活動を支援する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①市景観計画、市景観条例、県屋外広告物条例に基づき、29年度の建築（19件）、屋外広告物（361件）の届出を受け、景観形成基準等の遵守について指導した。また、屋外広告物景観改善支援事業については、6件の広告物の撤去に対し補助を行った。屋外広告物景観改善支援事業は30年度8月末限りであるため、制度のPRを行う。</p> <p>②伝統的民家普及促進事業（3件）の修景整備補助を行った。</p> <p>③ふるさと百景活動（1団体）の支援を行った。</p>		3 (3) 都市計画課
(2) 公園・緑地の整備と維持管理	<p>【取組み概要】</p> <p>①市のセントラルパークである武生中央公園、地区公園としての瓜生水と緑公園の計画的な整備を進める。</p> <p>②武生東運動公園、日野川河川緑地の計画的な改修を進める。</p> <p>③都市公園（街区公園76箇所、近隣公園以上18箇所）の維持管理については、指定管理者、地域住民が連携し、良好な維持管理を推進する。</p> <p>次の項目については、次ページの総合戦略に記載する。 (ii) 子どもの遊び場（大型遊具）整備数</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①武生中央公園については、日本を代表する絵本作家かこさとし氏の監修を受け、29年8月にだるまちゃん広場等の供用を開始し、多くの人で賑わった。瓜生水と緑公園の整備が完了した。</p> <p>②武生東運動公園の園路の改修を行い、日野川河川緑地については、左岸側の駐車場とパーベキューエリアの整備を行った。</p> <p>③都市公園の維持管理については、指定管理者、地域住民が連携を図り、良好な維持管理を実施した。</p>		4 (3) 都市計画課
(3) 良質な住宅の供給	<p>【取組み概要】</p> <p>①既設市営住宅の質的向上や長寿命化を図るため、市営住宅長寿命化計画に基づき、屋根改修等改善工事を入居者の協力を得て、円滑に進める。</p> <p>②まちなか居住と定住化を促進するために、住宅の取得、リフォーム、共同住宅の整備等の支援事業を行う。</p> <p>③戸別訪問や市政出前講座の開催等を行い、木造住宅の耐震診断及び耐震改修の普及促進を図る。</p> <p>次の項目については、次ページの総合戦略に記載する。 (iii) 空き家リフォーム件数 (iv) 共同住宅供給戸数 (v) 従業員用住宅整備戸数 (vi) 新婚夫婦家賃補助での市外からの転入者数</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①4団地を実施した。今後も、日常の点検を強化しながら市営住宅長寿命化計画に基づき、改善工事を実施する。</p> <p>②まちなか住宅取得支援事業が8件、まちなか空き家等リフォーム支援事業が3件の申請があった。共同住宅の整備に関する情報はあったが、具体的行動には結びつかなかった。</p> <p>③木造住宅の耐震診断が29件、改修工事が5件あった。引き続き戸別訪問や市政出前講座の開催等を行い、耐震化の周知・啓発を図っていく。</p>		3 (3) 建築住宅課

施策評価	(4) 上水道の整備	<p>【取組み概要】 (①②=強靱、③=安全、④=持続)</p> <p>①市水道施設更新計画に基づき、水道施設の適正管理に努めながら、管路の更新及び耐震化を進める。</p> <p>②第5次拡張事業により、白山地区への水道施設の整備を進める。</p> <p>③市の安全で安心な水道水についてPRを行う。</p> <p>④健全経営を維持するため、高い料金収納率を目指す。</p>	3 (3)	水道課
		<p>【結果及び分析】</p> <p>①老朽管更新工事については、村国二丁目他、計8箇所において実施した。L=754m</p> <p>②第5次拡張事業については、県工事(吉野瀬川ダム関連)の進捗に合わせて、白山地区の施設の整備を実施した。Φ200mm、L=689m</p> <p>③水道水に関するPRについては、水質検査結果の公表や凍結破損等の注意喚起、節水についての啓発を市ホームページやトピックス、テレビのテロップ等を活用して実施した。</p> <p>④収納率維持については、未収納整理を計25回実施し、料金収納率99.31%となった(3月31日現在)。</p>		
	(5) 下水道の整備	<p>【取組み概要】</p> <p>①市下水道整備基本構想に基づき、35年度の汚水処理人口普及率100%を目標に、公共下水道・合併処理浄化槽・農林業集落排水の役割分担により、効率的かつ効果的な汚水処理施設の整備を推進する。</p> <p>②「維持管理の時代」を迎え、計画的で効率的な施設・設備の更新と維持管理を推進する。</p> <p>③人口減少で使用料収入が減少する中、市下水道事業経営戦略に基づき、早期水洗化の促進や収納率向上の取組みを進める。</p>	4 (4)	下水道課
		<p>【結果及び分析】</p> <p>①整備は着実に推進している(29年度末の公共下水道面整備率:79.8%、汚水処理人口普及率:91.5%)。特に29年度は基本構想の見直しを行い、新たな開発区域となる北陸新幹線南越駅(仮称)周辺エリアの汚水処理施設整備を公共下水道で行うこととした。</p> <p>②家久浄化センター長寿命化計画に基づき、計画的な改築・更新工事を行っている(26年度から污泥処理設備の更新工事)。また、効率的かつ持続的なライフサイクルコストの低減を図るストックマネジメント計画を29、30年度で策定中。</p> <p>③水洗化促進事業は、29年度から始まった地域ぐるみ接続奨励金制度に30地区が取り組むなど、制度導入後、接続件数が順調に伸びており、水洗化率も目標どおり向上している(29年度末の水洗化率:85.8%)。</p>		
総合戦略	(i) 市内企業の新設又は増設による雇用者増加数に占める市内居住者割合	<p>【取組み実績】</p> <p>企業立地促進補助金利用による雇用者増加数は、29年度においては新規雇用者数53人、市内内居住者割合は75.5%、U I J ターン等による新規雇用者数は13人</p> <p>【課題】</p> <p>市内居住者割合は、28年度の40.1%から29年度は75.5%と増えており総合戦略K P I の目標を達成し、住宅施策などによる一定の成果は出てきている。U I J ターンも併せて、継続して比率を上げていく。</p> <p>【方向性】</p> <p>引き続き、住宅施策や子育て支援施策との連携強化及びPR強化を行う。</p>	◎	産業政策課
	(ii) 子どもの遊び場(大型遊具)整備数	<p>【取組み実績】</p> <p>武生中央公園だるまちゃん広場に大型複合遊具を整備した。</p> <p>【課題】</p> <p>数値目標の子どもの遊び場(大型遊具)については、丹南総合公園里山エリアや今立中央公園、武生中央公園の整備が完了し、整備数3件の目標を達成した。</p>	○	都市計画課
	(iii) 空き家リフォーム件数	<p>【取組み実績】</p> <p>29年度の実施件数3件。累計12件。</p> <p>【課題】</p> <p>目標値10件/5年間となっており、順調に推移している。</p> <p>【方向性】</p> <p>引き続き、企業、工務店、まちづくり会社等と連携し、支援制度の周知やPRを行っていく。</p>	◎	建築住宅課

(iv) 共同住宅供給戸数	<p>【取組み実績】 29年度の実施戸数143戸。累計345戸。</p> <p>【課題】 目標値300戸／5年間となっており、順調に推移している。</p> <p>【方向性】 引き続き、企業、工務店、まちづくり会社等と連携し、情報交換や支援制度の周知等を行っていく。</p>	◎	建築住宅課
(v) 従業員用住宅整備戸数	<p>【取組み実績】 29年度の実施戸数30戸。累計206戸。</p> <p>【課題】 目標値150戸／5年間となっており、順調に推移している。</p> <p>【方向性】 引き続き、企業、工務店等と連携し、情報交換や支援制度の周知等を行っていく。</p>	○	建築住宅課
(vi) 新婚夫婦家賃補助での市外からの転入者数	<p>【取組み実績】 29年度の転入者数100人。累計300人。</p> <p>【課題】 目標値600人／5年間となっており、120人／1年間は達していない。</p> <p>【方向性】 引き続き、住まい情報バンク等により情報発信の強化を行っていくとともに、企業、不動産会社、まちづくり会社等と連携し、情報交換や支援制度の周知等を行っていく。</p>	△	建築住宅課

第3章 快適で住みよいまちづくり

第4節 快適な交通体系の整備

政策 達成度	3 (3)	【特記事項】 ・福武線の安全・安定運行の継続に向け、県・沿線3市で協議し、本市の状況を勘案した30年以降の支援スキームを決定することができた。 ・北陸新幹線の整備について、沿線10町内のうち9町内で用地取得を終え、取得率95.6%となった。 ・福井国体までに都市計画道路河濯線を整備するにあたり、29年度に用地取得と物件補償は完了した。
施策名	取組み概要・結果及び分析	達成度 担当課
(1) 公共交通の整備	<p>【取組み概要】</p> <p>①福武線については、関係団体等と連携して、各種イベントの開催や北府駅のイルミネーションの実施によるPR活動を行い、「乗る運動」を展開する。</p> <p>②バスについては、4月から市民バスのルート・ダイヤ改正及び路線バスの鯖江市への延伸運行を行う。また、バス利用促進に向けチラシを作成する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①福武線については、目標205万人に対し大雪による運休の影響で目標を下回り、対前年比で98.8%となった。引き続き関係団体等と連携し「乗る運動」を展開する。</p> <p>②バスについては、市民バス利用者は大雪による運休があったが、ルート・ダイヤ改正等の成果もあり、武生エリアでは対前年比で100.9%となったものの、福祉バス利用者は減少傾向にあり、バス全体の利用者は対前年比で97.6%となった。福祉バス制度のさらなる周知に努める。</p>	2 (3) まちづくり・総合交通課
(2) 北陸新幹線の整備促進	<p>【取組み概要】</p> <p>①新幹線整備については、関係機関と協力して沿線集落の理解を得るための説明会を開催する。</p> <p>②南越駅（仮称）周辺整備については、関係機関と南越駅（仮称）へのアクセス道路等に関する協議を行う。また、関係地保への説明会を開催し、事業用地取得に対する理解を得る。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①新幹線整備については、沿線10町内のうち9町内で用地取得を終え、取得率は95.6%となった。また、35年春の開業に向け、全ての工区で契約を終え、本線工事に着手できるよう工事説明会を開催している。引き続き関係機関と連携して、事業の進捗を図る。</p> <p>②南越駅（仮称）周辺整備については、道路事業に係る用地取得をほぼ終えた。なお、東西アクセス道路は県事業として着手した。引き続き、道の駅、多目的広場等の用地取得を進める。</p>	3 (3) まちづくり・総合交通課
(3) 駐車場の整備	<p>【取組み概要】</p> <p>①市営駐車場については、市広報紙や市ホームページ等で月極め駐車場の募集を積極的に行い、より一層の利用促進を図る。また、武生中央公園再整備における駐車台数の確保を図る。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①市営駐車場は28年度とほぼ同様の利用があった。30年の福井国体に合わせ武生中央公園内の駐車場の整備を進め、29年には第3駐車場を整備し62台を確保した。30年には第4駐車場を整備し武生中央公園全体の駐車台数を約740台確保する予定である。</p>	3 (3) 都市計画課
(4) 道路の整備と維持管理	<p>【取組み概要】</p> <p>①交通ネットワークの強化を図るため都市計画道路河濯線を整備するとともに、生活に密着している市道の整備を行う。</p> <p>②道路法による定期点検結果に基づき、道路構造物（橋梁・トンネル）の補修修繕を実施する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①都市計画道路河濯線の用地取得完了及び道路改良工事に着手した。また、市道約1.4kmの整備を実施した。引き続き、都市計画道路河濯線の整備を進め、福井しあわせ元気国体開幕前の供用開始を目指す。</p> <p>②北新庄橋（北町）等橋梁83橋の定期点検及び桜橋（国中町）等橋梁5橋の改修工事を実施した。引き続き、道路法に基づく点検、補修を実施し、道路の安全性と信頼性の確保に努める。</p>	3 (3) 都市整備課
(5) 雪に強い道づくり	<p>【取組み概要】</p> <p>①市民生活や産業活動に支障を来さないよう、気象情報を的確に収集し道路除雪を実施する。</p> <p>②市道路無雪化事業整備計画に基づき、計画的に消雪施設を整備する。</p> <p>③除雪業者の除雪車両の購入や更新に対して、市道路除排雪機械整備費の補助を行う。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①車道除雪業者106社・歩道除雪業者19社にて、冬期間の交通の確保を図った。今後は、今回の大雪を踏まえ除雪体制の見直し等を行う。</p> <p>②消雪施設1.22kmの整備を実施した。引き続き、市道路無雪化事業整備計画に基づき消雪施設の整備を行う。</p> <p>③除雪業者5社に対して、除雪車両の購入補助を実施した。30年度においても、29年度と同様に購入補助を行う。</p>	3 (3) 都市整備課

第3章 快適で住みよいまちづくり
第5節 環境にやさしいまちづくり

政策 達成度	3 (3)	【特記事項】 ・金属類・電気製品の拠点回収、おいしいえちぜん食べきり運動等により、ごみの減量化、リサイクルの推進が図られた。	
施策名	取組み概要・結果及び分析		達成度 担当課
施策評価 (1) 持続可能な循環型社会の推進	【取組み概要】 ①ごみ減量化推進は、金属類・電気製品の拠点回収、おいしいえちぜん食べきり運動、雑がみ回収運動、ごみ分別の市政出前講座等の実施により、ごみの減量化を図る。 ②地球温暖化防止対策は、住宅用太陽光発電設備・暮らしの省エネルギー設備及び電気自動車の普及に努める。 ③環境教育は、エコビレッジ交流センターを活用した環境学習講座や認定こども園・保育園・幼稚園等での環境学習会などを実施し、環境学習を推進する。		3 (3) 環境政策課
	【結果及び分析】 ①拠点回収は、回収量も109tに達した。おいしいえちぜん食べきり運動や雑がみ回収の啓発活動、市政出前講座17回を実施した。このことにより、ごみの減量化、リサイクルの推進が図られた。今後も継続して実施し、ごみの減量化とリサイクルを推進する。 ②太陽光発電の補助件数が34件、電気自動車の補助件数が12件あり、引き続き、普及を推進する。 ③エコビレッジ交流センターを活用した環境学習会に3,047人が参加し、また、全ての認定こども園・保育園・幼稚園で環境学習会が開催された。希少生物などを守り育み、美しい里地里山を保全する環境学習をエコビレッジ交流センターで開催し、啓蒙活動を推進する。		
(2) 望ましい環境の保全・創造	【取組み概要】 ①生活環境保全対策は、大気観測、河川の水質調査、公害防止協定事業所の排水調査、地下水水質調査及び環境パトロールを実施し、早期問題発見と未然防止に努める。 ②各地域で行われる河川清掃や雪解けクリーン作戦の支援の他、不法投棄監視パトロールに加え、監視カメラの効果的な設置により、抑制と早期発見に努める。 ③美しい里地里山を保全するための、環境保全啓発活動を推進する。		3 (3) 環境政策課/農政課
	【結果及び分析】 ①大気観測及び水質調査において、概ね環境基準に適合していた。公害防止協定締結事業所調査では、33事業所の立ち入り調査を行い、全体としては概ね良好な環境が保たれていたが、3事業所では指導を行った。引き続き、監視と立ち入り調査等を継続し、生活環境の保全に努める。 ②監視パトロールにより早期発見が図られるとともに、監視カメラを有効的に設置することにより、設置場所の不法投棄が減少した。引き続き、不法投棄の根絶に向け、積極的に監視活動に取り組む。 ③コウノトリや希少生物などを守り育み、美しい里地里山を保全する環境学習について、SATOYAMA親子レンジャーをみどりと自然の村及びエコビレッジ交流センターで開催し、環境保全に対する啓発活動を推進した。		

第4章 安全で安心なまちづくり
第1節 地域が支える防災体制の充実

政策 達成度	3 (4)	【特記事項】 ・29年10月の台風21号被害及び30年2月の大雪被害において、災害対策本部及び雪害対策本部を設置し、全庁的に災害対応を行った。	
施策名	取組み概要・結果及び分析		達成度 担当課
(1) 地域防災力の充実	<p>【取組み概要】</p> <p>①自主防災組織リーダー研修会や市政出前講座等の継続的な開催により、住民の防災意識の向上を図る。</p> <p>②避難マニュアル・防災マップについては、避難経路の見直し等の更新支援を行う。</p> <p>③市防災士育成事業については、防災士の資格取得経費の補助を行い支援するとともに、地域で活躍する防災コーディネーターを養成する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①自主防災組織リーダー育成研修会を開催して、避難所の開設・運営と地域の自主防災活動について研修（県防災士の会が講師）を行った（参加者420人）。また、市政出前講座を26回開催し防災知識の普及に努め防災体制の充実を図った。</p> <p>②避難マニュアル・防災マップ未作成町内に対する支援を継続的に実施し、1町内が完成し246町内が作成済みとなった（作成率96.8%）。また、既に作成済みの町内に対する更新の支援を行い3町内が更新を行った。30年度以降も引き続き支援を行っていく。</p> <p>③市防災士育成事業では、防災士15人に市が助成し、市防災士の会員数は129人となった。また、市総合防災訓練や地区防災訓練等に参画して講演や指導を行うなど、地域において活躍した。</p>		3 (4) 市民自治推進課/防災安全課
(2) 危機管理体制の充実	<p>【取組み概要】</p> <p>①住民避難訓練や救出救助訓練など市総合防災訓練を実施し、防災体制の充実・強化を図る。</p> <p>②福井県総合防災訓練に協力し、市民の避難訓練を実施する。</p> <p>③防災行政無線のデジタル化について、詳細設計書を基に関係各部署等と協議するとともに、30年当初予算に反映する。</p> <p>④災害発生時には、関係機関や団体と連携し、速やかな災害対応を行う。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①本部員及び調整班を対象に、災害時に自発的に判断できるよう、研修会（5月15日）及び本部運営訓練（5月30日）を行うとともに、各部対応マニュアル及びチェックリストの検証を行い、職員の災害時対応力強化を図った。また、大規模地震を想定した住民避難訓練及び救出・救助訓練、地震体験等を実施した（北日野地区住民等約1,000人参加）。これらにより、職員の本部運営能力及び、市民の災害対応力の向上を図ることができた。</p> <p>②福井県総合防災訓練に協力し、王子保地区（150人参加）の住民避難訓練を行い、市民の防災力向上を図ることができた。</p> <p>③防災行政無線デジタル化については、詳細設計書を基に関係各部署等と協議するとともに、30年当初予算に反映した。</p> <p>④29年10月の台風21号被害及び30年2月の大雪被害において、災害対策本部及び雪害対策本部を設置し、全庁的に災害対応を行った。また、台風21号被害の検証を行い、投票事務従事中における防災要員の確保、投票所と広域避難場所の重複を見直すとともに、大雪被害からの課題を取りまとめ、県へ要望書を提出した。</p>		4 (4) 防災安全課

第4章 安全で安心なまちづくり
 第2節 郷土を守る治山・治水対策の充実

<p>政策 達成度</p>	<p>4 (4)</p>	<p>【特記事項】 ・山林保全監視モニター133人を依頼し、山地災害の未然防止など安全安心まちづくりに努めた。 ・吉野瀬川放水路の完成により、吉野瀬川下流域における治水効果が高まった。</p>	
<p>施策評価</p>	<p>施策名</p>	<p>取組み概要・結果及び分析</p>	<p>達成度 担当課</p>
	<p>(1) 郷土を守る治山・治水対策の充実</p>	<p>【取組み概要】 ①吉野瀬川沿線住民の安全安心を図るため、吉野瀬川ダム建設と河川改修事業の促進を図る。 ②山地災害の未然防止や情報収集を図るため、県と連携して山林保全監視モニターを依頼する。 ③県営治山事業（治山ダム）は、県と連携し事業推進を図る。</p> <p>【結果及び分析】 ①29年11月の吉野瀬川放水路の完成により、吉野瀬川下流域における治水効果が高まった。 ②山林の地係を有する町内の代表者（区長）133人に山林保全監視モニターを依頼し、山崩れや危険箇所等の情報収集を行った。 ③29年度の県営治山事業は、1箇所（中津原町）が完成した。</p>	<p>4 (4) 都市整備課/農林整備課</p>

第4章 安全で安心なまちづくり
第3節 地域ぐるみの防犯対策の充実

政策 達成度		4 (4)	【特記事項】 ・市防犯隊や自治振興会等との連携により、防犯パトロールを強化した結果、刑法犯認知件数が前年比で約15%減少した。		
施策評価	施策名	取組み概要・結果及び分析		達成度	担当課
	(1) 子どもの安全・安心の確保	【取組み概要】 ①警察署や自治振興会、PTAなどと連携し、子ども見守り活動を推進する。 ②通学路用防犯灯の維持管理を行い、防犯環境の整備に努める。	4 (4)	防災安全課	
		【結果及び分析】 ①市内の刑法犯認知数は282件と昨年より48件減少したが、子ども・女性に対する「声かけ」等の犯罪は17件と昨年より7件増加した。今後も子ども・女性に対する犯罪抑止のため、登下校時における子どもの見守り活動等、関係機関や団体と連携し地域全体で見守る環境づくりに努める。 ②通学路用防犯灯については、新設1箇所、移設2箇所、修繕3箇所を実施し、防犯環境の維持管理を図った。また、防犯灯12,044基の維持管理を行い、防犯環境が悪化しないよう努めた。			
(2) 地域防犯活動の推進	【取組み概要】 ①市防犯隊と警察署、自治振興会をはじめとする地域の防犯関係団体と協力連携し、社会全体の防犯意識を高めて犯罪抑止を図る。	4 (4)	防災安全課		
	【結果及び分析】 ①防犯パトロールの強化、振り込め詐欺等に対する街頭での呼びかけなど防犯対策の広報活動を実施し防犯意識の高揚に努めたことにより、刑法犯認知件数は282件で28年より48件減少した。また、市防犯隊による子どもや女性が被害に遭いやすい場所の安全点検を実施した。				

第4章 安全で安心なまちづくり

第4節 消防・救急体制の充実

<p>政策 達成度</p>	<p>4 (3)</p>	<p>【特記事項】 ・消防力の充実強化等の取組み等により、29年中の火災発生件数が組合発足以来最小となった。</p>	
<p>施策評価</p>	<p>施策名</p>	<p>取組み概要・結果及び分析</p>	
	<p>(1) 消防・救急体制の充実</p>	<p>【取組み概要】 ①消防力の充実強化・救急救助体制の充実 消防車両等の計画的な更新整備による消防力の強化と救急救助体制の充実を図る。 ②応急手当の普及啓発 救急講習会等を開催し、バイスタンダー（傷病者発生時にその場に居合わせた人）による救命率向上を目指す。 ③市民の防火意識の高揚・火災予防対策の推進 防火講習会の開催、防火訪問の実施、住宅用火災警報器の設置・維持管理の周知等を通じ、火災予防対策を推進する。</p>	<p>達成度</p>
	<p>【結果及び分析】 ①配置から20年を経過した消防車両（2台）や救急自動車（1台）を更新するとともに、防火水槽（1基）を設置し、消防力の強化を図った。 ②事業所等を対象に普通救命講習を行い、バイスタンダーの育成を図った（759人）。また、小学年を対象に「いのちの教室」の開催し、救急意識の高揚を図った（948人）。 ③住宅密集地をはじめとした防火訪問を強化するなどの取組みにより、住民の防火意識の高揚に努めた結果、29年中の火災発生件数が、組合発足以来最小の20件となった。</p>	<p>4 (3)</p>	<p>警防課/ 予防課</p>

第4章 安全で安心なまちづくり

第5節 暮らしの安全の向上

政策 達成度		4 (3)	【特記事項】 ・市交通指導員等関係団体による街頭指導や啓発活動により、交通事故死者数・人身事故件数・負傷者数がいずれも前年より減少した。
施策評価	施策名	取組み概要・結果及び分析	
	(1) 消費者行政の充実	<p>【取組み概要】</p> <p>①消費者相談業務の充実及び悪質商法による被害防止のための啓発と、あっせんによる被害回復を図る。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①架空請求ハガキが大量に送付されたことやインターネット関連で相談件数が増加した。若者の詐欺被害防止のため、企業に出向き従業員向けの消費者教育を実施した。</p>	<p>達成度 3 (3)</p> <p>担当課 市民課</p>
	(2) 交通安全の推進	<p>【取組み概要】</p> <p>①通学路の安全確保を実施するとともに、自転車利用者への交通ルール・マナーの周知徹底を図る。</p> <p>②28年7月に改定した第10次市交通安全基本計画に基づき、交通事故死亡者ゼロに向け、関係機関・団体と連携して交通安全の啓発活動や街頭指導を実施していく。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①通学路危険箇所グリーンベルトを3箇所設置し安全確保を図るとともに、中学校において通学用自転車の安全点検を実施し、交通ルール・マナーの周知を図った。</p> <p>②市交通指導員等関係団体による街頭指導や啓発活動により、交通事故死者数1人(4人減)・人身事故件数98件(32件減)・負傷者数121人(30人減)となり、いずれも前年より減少した。さらなる交通安全対策により死亡事故0(ゼロ)を目指していく。</p>	<p>達成度 4 (3)</p> <p>担当課 防災安全課</p>
	(3) 生活関連施設の充実	<p>【取組み概要】</p> <p>①斎場、霊苑の計画的改修を行うことにより、施設の長寿命化と快適性の保持を図る。</p> <p>②利便性向上のため、火葬時間を変更する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①長期計画に基づき、斎場の火葬炉改修、霊園内の通路舗装改修等の工事を順次実施し、快適な施設環境の整備と適正な維持管理に努めた。</p> <p>②29年4月から火葬時間を変更し、利用者の待ち時間短縮や混雑緩和を図った。</p>	<p>達成度 4 (4)</p> <p>担当課 市民課</p>

第5章 市民が主役のまちづくり
第1節 市民自治の推進

政策 達成度	4 (4)	【特記事項】 ・地区と行政が共通する、介護予防・地域福祉や防災対策等の諸課題に対し、協働して事業推進を図ることができた。	
施策名	取組み概要・結果及び分析		達成度 担当課
(1) 市民参画・協働の推進	<p>【取組み概要】</p> <p>①市民活動団体を支援している「NPO（のっぽ）えちぜん」のフェイスブックを活用して、市民活動団体が行うイベント等の情報を発信するとともに、市民活動団体との連携強化を図り、組織強化に繋げる。</p> <p>②地域貢献活動支援補助金を活用して、学生団体の活動を支援する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①NPO（のっぽ）えちぜん主催事業のほか会員が実施するイベントや講座等も共催事業としてフェイスブックに掲載し、参加者の増加に努めた（主催講座4事業、共催事業7事業）。主催事業については、新庁舎建設やまちづくりなど身近なテーマを取り上げ講座を実施した。</p> <p>②学生団体への地域貢献活動支援は、仁愛大学、武生工業高校、武生商業高校から申請があり11の企画事業が採択され補助を行った。学生視点からのユニークな企画が実施され、地域貢献活動支援補助金の活用が図られた。</p>		4 (4) 市民自治推進課
(2) 地域コミュニティの充実	<p>【取組み概要】</p> <p>①各地区自治振興会と市が密接に関係する主要事業について、双方が連携・協働して取組みを行い、市民自治の充実強化を図る。</p> <p>②県・市補助制度の活用を促し、地域コミュニティの活動拠点となる町内集会所の整備を支援する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①介護予防（認知症予防）・地域福祉推進（町内福祉連絡会）・地域防災対策（防災訓練・防災士育成）・自治振興会の組織強化（女性参画）など、地区と行政が共通する諸課題に対し、双方が協働・連携して事業推進が図られ、協働による地域づくりが進化した。</p> <p>②大規模修繕（3町内）やバリアフリー改修（3町内）など、集会場の整備に対し支援を行った。また、自然災害で被害を受けた集会所に対する見舞金制度を創設し、4町内（各5万円）に支給するなど、コミュニティの活動拠点の環境整備に努めた。</p>		4 (4) 市民自治推進課
(3) 自らの地域づくり	<p>【取組み概要】</p> <p>①地区の課題を解決し、地区のニーズに応じた細やかなまちづくりを推進するために17地区自治振興会が各地区で策定した地域自治振興計画（28～30年度）に基づき、計画どおり事業を実施できるよう支援を行う。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①各地区自治振興会において地域支援職員も支援を行うなか2年目事業を計画どおり実施でき、自主的、自立的なまちづくりを推進できた。また、特別事業（市と協働で取り組む公益的活動で地域特性を活かした事業。別枠で交付金を交付）については、東、大虫、王子保、味真野、白山、岡本地区の計6地区が申請し採択され、地域の魅力の再認識、世代を超えた交流など、地域の活性化が図られた。</p>		4 (4) 市民自治推進課

第5章 市民が主役のまちづくり

第2節 市民交流の推進

<p>政策 達成度</p>	<p>3 (3)</p>	<p>【特記事項】 ・外国人の大量の住所異動に対し迅速に対応するため、外国人相談員を3人から5人に増員し、総合相談窓口の強化を図った。</p>	
<p>施策評価</p>	<p>施策名</p>	<p>取組み概要・結果及び分析</p>	
	<p>(1) 市民交流の推進</p>	<p>【取組み概要】 ①外国人市民生活支援事業を活用し、地域活動における翻訳サービスの提供など外国人市民に対する生活支援を行う。 ②市民交流促進を図るため、市友好都市推進協議会加盟団体が友好都市、都市連携協定締結都市等と親善事業を実施する場合、助成金を支給する。 ③外国人市民の異動事務については、入国管理局と連携し、正確かつ迅速に処理する。相談業務については、きめ細やかな対応を行う。</p>	<p>達成度</p>
	<p>【結果及び分析】 ①ゴミ分別などの注意喚起のほか、納涼祭などの町内行事や地域へのイベント等に外国人が参加しやすいように町内会のちらしの翻訳サービスを提供し支援した。 ②親善事業に係わる助成金については、29年度は5団体6件の利用があり、28年度と比較し1団体1件増加した。今後も引き続き、市民交流の促進を図る取組みを進めていく必要がある。 ③大量転入・大量転出があった場合についても、正確かつ迅速に住民基本台帳システムに反映できた。相談については、ポルトガル語4人、中国語1人の職員を配置して対応した。</p>	<p>3 (3)</p>	<p>市民自治推進課/市民課/秘書広報課</p>

第5章 市民が主役のまちづくり
第3節 人権尊重と男女共同参画社会の実現

政策 達成度	3 (3)	【特記事項】 ・29年3月に策定した第2次市男女共同参画プランに基づき、地域・企業等に対し、プランを説明し意識啓発を行ったほか、幅広い年齢層を対象とした市政出前講座等を実施し、延べ4,947人の受講者を得た。	
施策評価	施策名	取組み概要・結果及び分析	達成度 担当課
	(1) 人権の尊重	<p>【取組み概要】</p> <p>①人権推進室の新設により、市内の人権に関する連携と、人権尊重の推進を図る。学校や関係機関と連携を図り、意識の啓発を図るとともに、相談などの対応の充実に努める。</p> <p>②犯罪被害者等支援の大切さについて広報活動や啓発に努める。</p> <p>③拉致・特定失踪者問題の早期解決に向けて積極的な啓発活動を行う。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①人権に関する市内連絡会にて相談体制及び対応の連携を図り、10回の職員研修や、人権擁護委員による月1回の特設人権相談開設、菊人形会場での人権啓発活動、人権啓発講演会や人権ポスター展、吉野・服間小学校での人権の花運動等の実施により、人権尊重の啓発を行った。</p> <p>②犯罪被害者等支援については、支援の連携強化を目的に市内連絡会を開催し、市ホームページ・パンフレット等による啓発、ホンデリング支援活動を実施した。</p> <p>③拉致・特定失踪者問題については、小浜市での早期解決を願う福井県集会への参加や、菊人形会場での署名・啓発活動を実施し、市民への周知、理解を深めた。</p>	3 (3) 市民自治推進課
	(2) 男女共同参画社会の促進	<p>【取組み概要】</p> <p>①29年3月に策定した第2次市男女共同参画プランの説明や、男女共同参画センターによる講演会や出前講座、図書貸出等を通して、男女共同参画を推進する。</p> <p>②男女共同参画推進会議では、委員が地域や職場における情報交換等を行い、男女共同参画を推進する。</p> <p>③企業の男女共同参画推進は、男女平等オンブッドの事業所訪問による啓発活動を継続して行う。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①プランを地域や企業等において説明し、男女共同参画センターでは、「女性が活躍する社会に向けて」の講演会や講座8回、出前講座88回、図書貸出1,601冊等に、小中学生から子育て中の夫婦等、多くの参加によりプランを推進した。</p> <p>②男女共同参画推進会議の各委員が選出団体である自治振興会、企業、団体と連携を取りながら「ひとり1事業」を31回実施した。</p> <p>③男女平等オンブッドの事業所訪問を20箇所実施し、企業等における女性の役職登用、ワークライフバランスを啓発した。</p>	4 (4) 市民自治推進課

第5章 市民が主役のまちづくり

第4節 情報の共有化の推進

政策 達成度		3 (4)	【特記事項】 ・普及著しいスマートフォンを活用して、市ホームページへの誘導を図るため、市情報アプリ「えつつぶ」の運用を新たに開始した。
施策名	取組み概要・結果及び分析		達成度 担当課
施策評価	(1) 広報、広聴の充実	<p>【取組み概要】</p> <p>①市政情報や身近な地域情報を分かりやすくタイムリーに提供し、新聞・テレビなど各種メディアを使い市政を市内外にPRする。</p> <p>②市政への理解促進を図るとともに、市民や各種団体などの意見・提案などを市政やまちづくりに反映する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①市ホームページにおいて、各課のトピックスを1,840件（前年度1,730件）掲載し、積極的な情報発信を行った。課題は、ホームページにおけるウェブアクセシビリティの速やかな確保等であり、30年度中に誰もが支障なく、情報が見つけやすく、快適に使えるWebサイトを再構築する。</p> <p>②団体ミーティング（4回、132人）を開催し、市が取り組む施策や事業の概要を説明し、意見交換を行った。なお地域ミーティングについては前年度（29年3月）に前倒して実施している。</p> <p>※ウェブアクセシビリティ：高齢者や障がい者を含めて、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できること</p>	4 (4) 秘書広報課/市民自治推進課
	(2) 情報公開・提供の充実	<p>【取組み概要】</p> <p>①情報公開の請求に対し、迅速に対応する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①情報公開については、公文書の開示請求は71件、審査請求は3件であった。情報公開制度の適正な運用及び迅速な対応に努めた。</p>	3 (4) 秘書広報課
	(3) 情報通信基盤の整備	<p>【取組み概要】</p> <p>①普及著しいスマホに市の情報を簡単・便利に配信し、市ホームページの閲覧へ誘導を図る。市情報アプリ「えつつぶ」（えっちゃんのつぶやき）を3月から公開し運用を開始する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①3月からアプリの配信を開始した。多くの市民がスマホにアプリをダウンロードすることが課題であり、30年度はアプリの普及促進並びに各課によるアプリの活用推進に取り組む。</p>	3 (4) 情報統計課

第6章 地方分権に対応した行財政運営
第1節 自立した行財政運営の確立

<p>政策 達成度</p>	<p>4 (4)</p>	<p>【特記事項】 ・議会及び庁内主要会議にタブレットを導入し、ICT化を活用した業務改革及び働き方改革を推進した。 ・財産売払収入により歳入確保を図ったほか、財政調整基金及び社会基盤整備基金に計画的に積立てを行い、健全財政の維持を図った。 ・ふるさと納税の返礼品を65種類から300種類に増やし目標の寄附額1億円を達成した。</p>	
<p>施策評価</p>	<p>施策名</p>	<p>取組み概要・結果及び分析</p>	<p>達成度 担当課</p>
	<p>(1) 計画的・効率的な行 政運営</p>	<p>【取組み概要】 ①市行財政構造改革プログラムⅢ（26～28年度）の総括をしっかりと行ったうえで、28年度末に策定したプログラムⅣ【Change & Challenge】（29～31年度）を推進する。 ②議会及び庁内主要会議にタブレットを導入し、ペーパーレス化と職員の働き方改革を実施する。 ③市人材育成基本方針に基づき、職務の能力開発と向上に繋がる研修の充実を図るとともに、多様な採用試験を行い有為な人材の確保に努める。</p> <p>【結果及び分析】 ①市行財政構造改革プログラムⅢの総括について、7月実施の行財政構造改革推進委員会に報告し、外部委員から本市の取組みは県内において先行しているとの評価を受けた。また、1月実施の委員会では、プログラムⅣの上半期進捗状況等について報告し、今後の取組みについて助言、提言を受けた。 ②8月の庁内主要会議及び9月議会からタブレット導入を行ったことによる年間の削減経費は、20万枚の紙とコピー代で220万円、職員の750時間におよぶ作業時間で230万円、計450万円を見込んでいる。また、作業に要していた職員の作業時間を市民サービスの向上等、本来業務にあてるといふ働き方改革ができています。 ③職員研修は、接遇研修や管理職研修、自己選択型研修制度の活用により人材育成の充実を図るとともに、職員採用は、年3回の試験を実施するなかで、京都市でも試験及び説明会を行ったほか、就職情報サイトによる情報発信、また関西の主要大学に出向き情報収集や周知を行ったことで396人が受験し40人を採用した。</p>	<p>4 (4) 政策推進課/行政 管理課</p>
<p>(2) 健全で効率的な財政 運営</p>	<p>【取組み概要】 ①市行財政構造改革プログラムⅣの進捗管理と財政マネジメント強化を図るため、市公共施設等総合管理計画の推進や歳入の維持・拡大と歳出の削減を行う。 ②個人市民税に係る特別徴収（給与天引き）の推進や口座振替の普及促進に向けた取組みを継続する。また市民福祉部との連携等による徴収体制の強化や滞納処分強化を図ることにより、市税等の収納率向上、自主財源の確保に努める。 ③土地課税評価や課税支援システムの活用により、適正な課税客体の把握に努める。 ④ふるさと納税のさらなる推進のため、返礼品のリニューアルやクラウドファンディング形式の寄附募集等に取り組み、寄附額1億円を目指す。</p> <p>【結果及び分析】 ①旧盲人ホーム、旧公益質屋、木造市営住宅などを解体し、施設保有面積を削減した。さらに市有地を民間へ売却し財源を確保した。また税収を適正に見込み起債を抑えたほか、入札差金等による不用額について減額補正を行うとともに、財政調整基金などへの積み立てを行い財政基盤の強化に努めた。 ②個人市民税については、給与特別徴収（給与天引き）の県内一斉指定を実施し、従業員3人以上の事業所に対し、チラシを送付するなどの制度周知を行った。特別徴収義務者数（3,963人）と納税義務者数（28,091人）は、いずれも28年度より増加した。29年度の収納率については、滞納繰越分の収納率は増加したものの、市税全体における法人市民税額が減少したこと等から、現年分の収納率は低下した。 ③固定資産税（土地229,465筆、家屋52,206棟）の納税義務者（33,142人）と、個人市民税の納税義務者（43,975人）に対し、適正に課税した。 ④29年度の寄附額1億円を達成（106,454,433円）。返礼品を65種類から300種類まで増やしたことで、旬の食品（越前かに、おせち料理等）を増やしたことが奏功した。</p>	<p>4 (3) 財務課/ 税務収 納課/商 業・観 光振興 課</p>	

第6章 地方分権に対応した行財政運営
第2節 行政の広域化への対応

<p>政策 達成度</p>	<p>4 (4)</p>	<p>【特記事項】 ・マイナンバーカードを利用した住民票の写し、印鑑登録証明書等のコンビニ交付を29年4月からスタートした。 ・丹南5市町で営業に行った旅行会社が、越前市を行程に含むツアーを造成し、吉野瀬川（花見）や越前そばの里等に誘客が図られた。</p>	
<p>施策評価</p>	<p>施策名</p>	<p>取組み概要・結果及び分析</p>	
	<p>(1) 行政の広域化への対応</p>	<p>【取組み概要】 ①マイナンバーカードを利用して、住民票の写し、印鑑登録証明書等をコンビニエンスストアで取得できるサービスを開始する。 ②35年春の北陸新幹線南越駅（仮称）開業に向け、広域的な観光振興に取り組む。 ③31年4月に中核都市移行を目指す福井市が事務局となり取り組む、連携中枢都市圏の形成について協議を行う。</p>	<p>達成度</p>
	<p>【結果及び分析】 ①29年4月からコンビニ交付サービスを開始した（29年7月本稼働）。全国51,000店舗のコンビニで越前市の住民票の写し・印鑑登録証明書・戸籍証明・税証明の取得が可能になった。 ②29年3月策定の丹南地域周遊・滞在型観光推進計画に基づき、丹南5市町で連携協力し、誘客プロモーション活動を共同で実施した。 ③連携中枢都市圏構想に参加し、対象となる嶺北6市4町で合意形成が図られ、ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン骨子案を作成した。</p>	<p>4 (4)</p> <p>市民課/ 商業・ 観光振 興課/政 策推進 課</p>	

第6章 地方分権に対応した行財政運営
第3節 電子自治体の推進

<p>政策 達成度</p>	<p>3 (4)</p>	<p>【特記事項】 ・個人番号カード申請率が県内9市中2位となった。カードの利便性や地域経済応援ポイント事業のPR及びポイント利用対象の拡大により、さらなる普及に取り組む。</p>	
<p>施策評価</p>	<p>施策名</p>	<p>取組み概要・結果及び分析</p>	<p>達成度 担当課</p>
	<p>(1) 電子自治体の推進</p>	<p>【取組み概要】 ①個人番号カードの普及及び多目的利用として、カードシールの作成、マイナポータルでの電子申請を開始するとともに、地域経済応援ポイントの導入準備を行う。 ②情報セキュリティ事故を未然に防ぐため、職員へのセキュリティ研修やeラーニング研修の実施及び毎月1課セキュリティ内部監査を実施する。 ③コンビニ交付サービスを開始し、サービス利用率の向上及び個人番号カードの普及促進を図る。</p> <p>【結果及び分析】 ①4月末からカードシールの配布を開始。11月にマイナポータルでの電子申請の環境を整えた。地域経済応援ポイントは、30年4月末に開始予定であるが、課題はポイント利用対象を増やすことであり、30年度に利用対象の拡大に取り組んでいく。 ②着実に実施することで、職員のセキュリティ意識を醸成することができた。30年度も引き続き研修と内部監査に取り組んでいく。 ③29年4月にコンビニ交付開始。30年4月から住基カードでも利用できるよう条例を改正した。たんなんカードからの切替勧奨等の実施により、個人番号カード申請率は9市中2位となったが、交付枚数は目標数に達しなかった。</p>	<p>3 (4) 情報統計課/市民課</p>